

令和3年度事業報告書

『公益目的事業』

〔芸術文化センター関係〕

1 芸術文化センター事業

(1) 佐渡芸術監督プロデュースオペラ 喜歌劇「メリー・ウィドウ」

令和3年7月16日から7月25日の日程で、計8公演を計画通り実施した。コロナ禍でのオペラ全幕上演は全国初であった。

また関連イベントとして、ハイライトコンサートを県内3会場で3公演、芸術文化センターで3公演、ワンコイン・プレ・レクチャーを4公演実施した。

(2) 芸術文化センター主催事業

コロナ禍の状況下においても、徹底した感染防止対策を講じて、主催公演263公演を上演した。また、海外からの招聘公演等については中止となる公演もあったが、速やかに代替公演を企画・実施した。

主催公演入場者は、令和2年度の90,664人から、令和3年度は195,033人まで回復した。

(3) 特色あるシリーズ企画・舞台芸術の普及

「世界音楽図鑑」等の海外招聘公演が不可能となったが、新たな公演の企画や映像の活用により公演を実施した。またワンコイン・コンサートなど低料金の公演を通じて、舞台芸術の普及促進・定着を図った。

2 兵庫芸術文化センター管弦楽団事業

令和2年度は定期演奏会が全て中止となったが、令和3年度はコロナ禍以前と同様に1事業3公演で再開し、合計6事業18公演を実施した。

また「わくわくオーケストラ教室」も徹底した感染防止対策を講じて実施し、参加者は令和2年度の約10,000人から令和3年度は約23,000人まで回復した。

スーパーキッズ・オーケストラは、大ホールで2公演行ったほか、令和2年度に実施できなかった東日本大震災復興祈念演奏活動を岩手県内9会場で実施した。

3 芸術文化センター広報・普及活動

情報誌「ひょうご舞台芸術」や会報誌のほか、各種SNSや動画配信等を活用した広報を展開し、先行予約会員が6万人を超えた。

令和2年度に開催できなかったプロデュースオペラや楽団定期演奏会の公開リハーサル、ワークショップ、バックステージツアーも計画どおり開催した。

4 施設の管理運営事業

令和3年度中、2度の緊急事態措置、4度のまん延防止等重点措置が発令されたが、感染対策アドバイザーの助言やレクチャー等により、情報や認識の共有を図り、感染防止対策を徹底することで安全な運営を行うことができた。

貸館については、令和2年度の159公演から令和3年度は288公演まで回復した。

〔事業展開の基本コンセプト〕

- ① 多彩な舞台芸術の『創造・発信』
- ② 芸術性豊かなものから親近感に富むものまで、『幅広いニーズ』に応える上演
- ③ 舞台芸術の『普及』・県民の創造活動の支援

芸術文化センターの運営

1 芸術文化センター事業

(1) 佐渡芸術監督プロデュースオペラ・コンサート公演 (KOBELCO 大ホール)

佐渡裕芸術監督ならではの企画による制作・上演。プロデュースオペラは全国的にも珍しい全8回ロングラン公演を展開。幅広いオペラファンの獲得・定着をめざした。

演 目	公演年月日	出演者等	入場者 (人)
喜歌劇「メリー・ウィドウ」 (新制作15作目) (全3幕／日本語 上演・日本語字幕 付き／改訂新制 作) (公財) 三菱UFJ 信託芸術 文化財団助成 (公財) 花王芸術・科学財 団助成	3. 7. 16 ～7. 25 (8公演)	演 出：広渡 勲 美 術：サイモン・ホルズワース 指 揮：佐渡 裕 衣 裳：スティーヴ・アルメリーギ 照 明：沢田祐二 振 付：川西清彦 出 演： (ダブルキャスト) ハンナ・グラヴァリ＝高野百合絵、並河寿美 ダニロ・ダニロヴィッチ＝黒田祐貴、大山大輔 ミルコ・ツェータ＝折江忠道、片桐直樹 ヴェランシエンヌ＝高橋維、市原愛 晴雅彦、河野鉄平、清水華澄、森雅史、水口健 次、ほか (以下、シングルキャスト) ニエグシュ＝桂文枝 シルヴィア＝香寿たつき ほか 管弦楽：兵庫芸術文化センター管弦楽団 合 唱：ひょうごプロデュースオペラ合唱団ほか	11,710
		〔関連公演〕3事業7公演(県内ツアー：3事業 3公演) ＊「ハイライトコンサート～ええとこどり！」 県内3会場(稲美町 4/18、小野市 10/15 *5/15 の 延期公演、丹波篠山市 10/24*5/16 延期公演)と芸 文センター(4/15～17)で実施 ＊洲本市 4/24 公 演は中止 ＊ワンコイン・プレ・レクチャー(同日2回) 5/26(講師：中村敬一、出演：高野百合絵、ほか) 6/24(講師：小宮正安) ＊前夜祭 7/15(阪急中ホール) 主催：西北活性化協議会	西宮 (2,155) 県内ツアー (762) (2,218)
ジルヴェスター・ コンサート ＊冠協賛：アサヒグルー プホールディングス株式 会社 H20年から14回目	3. 12. 31 (1公演)	指 揮：鈴木優人 管弦楽：兵庫芸術文化センター管弦楽団	1,628
合 計		2事業 9公演	13,338 県内 (5,135)

※芸術文化センター管弦楽団演奏会は別記

(2) 他館との連携による自主制作オペラ事業（阪急 中ホール）

演 目	公演年月日	出演者等	入場者 (人)
日本オペラプロジェクト 「夕鶴」 (全1幕／日本語上演・日本語字幕)	4. 3. 20 ～21 (2公演)	音 楽：團伊玖磨 作：木下順二 指 揮：栗辻聡 演出：岩田達宗 出 演：つう＝石橋栄実、老田裕子 与ひょう＝清水徹太郎、中川正崇 (以上、ダブルキャスト) 運ず＝晴雅彦 惣ど＝松森治 児童合唱：夙川エンジェルコール 管弦楽：ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団 主 催：兵庫県、兵庫県立芸術文化センター 制 作：兵庫県立芸術文化センター 連 携：東大阪市文化創造館 (R4. 4. 2 東大阪公演共催)	1, 283
合 計		1 事業 2 公演	1, 283

(3) 独自の企画制作・プロデュースによる演劇公演／兵庫県ゆかりの古典芸能（阪急 中ホール）

芸文センター独自に企画・制作し上演する良質で多彩な演目により新たなファンも発掘した。

演 目	公演年月日	出演者等	入場者 (人)
古典芸能 (河内特別参与企画)	BUNRAKU 和と洋で聴く シュールベルトの「魔王」 (神戸女学院小ホール)	出 演：豊竹呂太夫（義太夫） 河野克典（バリトン） 皆川隼人（チェロ） トーク：豊竹呂太夫、河野克典、 河内厚郎（兵庫県立芸術文化センター 特別参与）	381
	文楽 in Hyogo 「義士 銘々伝 弥作鎌腹の 段」	第一部 トーク「文楽の楽しみ方」 出演：吉田和生、細川貂々（漫画家 エッセイスト） 第二部 文楽 義士銘々伝 弥作鎌腹の段 出演：吉田和生、吉田玉男、 竹本千歳太夫 ほか	322
古典芸能	ひょうごの民俗芸能祭 ～五国のまつりと城めぐり～	総合プロデューサー：田辺真人 (園田学園女子大学名誉教授) 内 容：兵庫県の伝統芸能の多様性と 豊かさを県民に紹介	417
合 計		3 事業 4 公演	1, 120

(4) 幅広いニーズに応える公演（自主企画制作・招聘・提携・共催事業等）

① 国内外オーケストラ・オペラ・バレエ・室内楽公演等

音楽マネジメント事務所等との連携により、国内トップレベルのオーケストラ、オペラ、バレエ公演をはじめ、様々な国の優れた舞台芸術を上演し、観客の期待に応えるとともに、大規模舞台芸術専門劇場としての存在感をアピールした。

演 目		公演年月日	出演者等	入場者 (人)
世界の巨匠	ブルーノ＝レオナルド・ゲルバー (KOBELCO 大ホール)	3. 4. 3 (1公演)	ピアノ：ブルーノ＝レオナルド・ゲルバー	新型コロナウイルス感染症の影響により中止
	ベルチャ弦楽四重奏団 (神戸女学院小ホール)	3. 6. 18 (1公演)	出 演：ベルチャ弦楽四重奏団	新型コロナウイルス感染症の影響により中止
	ダン・タイ・ソン (KOBELCO 大ホール)	4. 1. 30 (1公演)	ピアノ：ダン・タイ・ソン	新型コロナウイルス感染症の影響により次年度へ延期
	グザヴィエ・ドウ・メストレ (KOBELCO 大ホール)	3. 9. 10 (1公演)	ハープ：グザヴィエ・ドウ・メストレ	新型コロナウイルス感染症の影響により中止
	ダニエル・ゼベック & タバア・ツィンマーマン & ジャン＝ギアン・ケラス トリオ (神戸女学院小ホール)	3. 9. 20 (1公演)	ヴァイオリン：ダニエル・ゼベック ヴィオラ：タバア・ツィンマーマン チェロ：ジャン＝ギアン・ケラス	新型コロナウイルス感染症の影響により中止
	ハインツ・ホリガーと仲間たち (神戸女学院小ホール)	3. 10. 3 (1公演)	出 演：ハインツ・ホリガー (オーボエ) 他	新型コロナウイルス感染症の影響により中止
	クリスチャン・ツィメルマン (KOBELCO 大ホール)	3. 12. 9 (1公演)	ピアノ：クリスチャン・ツィメルマン	1,989
	ミハイル・プレトニョフ (KOBELCO 大ホール)	3. 11. 23 (1公演)	ピアノ：ミハイル・プレトニョフ	新型コロナウイルス感染症の影響により中止
	ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団 ピアノ5重奏団ブルーム・クインテット (KOBELCO 大ホール)	3. 11. 30 (1公演)	出 演：ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団 ピアノ5重奏団ブルーム・クインテット	349
	エマニュエル・パユ & バンジャマン・アラール (神戸女学院小ホール)	3. 12. 3 (1公演)	フルート：エマニュエル・パユ チェンバロ：バンジャマン・アラール	381
	フォーレ四重奏団 (神戸女学院小ホール)	3. 12. 11 (1公演)	出 演：フォーレ四重奏団	321

	ヒラリー・ハーン ヴァイオリン・リサイタル (KOBELCO 大ホール)	4. 2. 24 (1公演)	ヴァイオリン：ヒラリー・ハーン ピアノ：アンドレアス・ヘフリガー	新型コロナウイルス感染症の影響により中止
	ガエタノ・デスピノー サ 指揮 ジャパン・ ナショナル・オーケス トラ 特別編成[関西テ レビ共催] (KOBELCO 大ホー ル)	4. 3. 5 (1公演)	ギター：村治佳織 ピアノ：反田恭平	1, 428
	マルタ・アルゲリッチ &ギドン・クレーメル (KOBELCO 大ホール)	4. 3. 15 (1公演)	ピアノ：マルタ・アルゲリッチ ヴァイオリン：ギドン・クレーメル	新型コロナウイルス感染症の影響により中止
	サントゥ＝マティア ス・ロウヴァリ 指揮 フィルハーモニア管弦 楽団 (KOBELCO 大ホー ル) 【ABC テレビ共催】	4. 3. 21 (1公演)	指揮：サントゥ＝マティアス・ロウヴァリ 出演：フィルハーモニア管弦楽団	新型コロナウイルス感染症の影響により中止
日本を代表する音楽家たち	京都市交響楽団 (KOBELCO 大ホール)	3. 4. 18 (1公演)	指 揮：広上淳一 ヴァイオリン：金川真弓 管弦楽：京都市交響楽団	1, 450
	河村尚子 (神戸女学院小ホール)	3. 4. 25 (1公演)	ピアノ：河村尚子	新型コロナウイルス感染症の影響により中止（無観客）
	仲道郁代 (KOBELCO 大ホール)	3. 5. 23 (1公演)	ピアノ：仲道郁代	1, 111
	宮田大&大萩康司 (神戸女学院小ホール)	3. 7. 1 (1公演)	チェロ：宮田大 ギター：大萩康司	395
	～Tribute to Chick Corea～ 小曽根真×上原ひろ み (KOBELCO 大ホール)	3. 9. 26	ピアノ：小曽根真、上原ひろみ	1, 937
	ジャパン・ウールツ・シン フォニー・オーケストラ 第10回兵庫 公演 (KOBELCO 大ホール)	4. 1. 4 (1公演)	ジャパン・ウールツ・シンフォニー・オーケストラ	1, 720
	宮川彬良&アンサンブ ル・ベガ ニューイヤ ーコンサート2022 (神戸女学院小ホール)	4. 1. 6 (1公演)	出演：宮川彬良&アンサンブル・ベガ	382
	河村尚子シューベル ト・プロジェクト第1回 (神戸女学院小ホール)	4. 3. 12 (1公演)	ピアノ：河村尚子	413
	圧巻のチャイコフスキー (KOBELCO 大ホール) 【ABC テレビ共催】	4. 3. 21 (1公演)	指揮：梅田俊明 管弦楽：東京フィルハーモニー交響楽団 ピアノ：辻井伸行 ヴァイオリン：三浦文彰	1, 864

その他のクラシック・コンサート、リサイタル等	宮川彬良&アンサンブル・ベガ こどもの日スペシャル (KOBELCO 大ホール)	3. 5. 5 (1公演)	出演：宮川彬良&アンサンブル・ベガ	新型コロナウイルス感染症の影響により中止（無観客）
	三浦謙司 (神戸女学院小ホール)	3. 5. 12 (1公演)	ピアノ：三浦謙司	362
	ノトス・カルテット (神戸女学院小ホール)	3. 7. 3 (1公演)	出演：ノトス・カルテット（ピアノ四重奏）	新型コロナウイルス感染症の影響により中止
	三浦一馬&上野耕平 &山中惇史 トリオ (神戸女学院小ホール)	3. 7. 4 (1公演)	バンドネオン：三浦一馬 サクソフォン：上野耕平 ピアノ：山中惇史	382
	のだめカンタービレの音楽会【関西テレビ共催】 (KOBELCO 大ホール)	3. 7. 31 ～8. 1 (2公演)	管弦楽：兵庫芸術文化センター管弦楽団	3, 327
	トリオ・アコード (神戸女学院小ホール)	3. 10. 30 (1公演)	ヴァイオリン：白井圭 チェロ：門脇大樹 ピアノ：津田裕也	394
	アレクサンドル・タローのサティ (神戸女学院小ホール)	3. 11. 12 (1公演)	ピアノ：アレクサンドル・タロー 他	新型コロナウイルス感染症の影響により中止
	東京バレエ団 「くるみ割り人形」 (KOBELCO 大ホール) 【日本バレエ団連盟、日本舞台芸術振興会共催】	3. 12. 24 (1公演)	出演：東京バレエ団	1, 800
	キアロスクーロ・カルテット (神戸女学院小ホール)	4. 2. 22 (1公演)	出演：キアロスクーロ・カルテット (弦楽四重奏)	新型コロナウイルス感染症の影響により中止
	テレマン室内オーケストラ (神戸女学院小ホール)	4. 3. 10 (1公演)	指揮：延原武春 管弦楽：テレマン室内オーケストラ	381
	関西二期会 歌劇「ドン・ジョヴァンニ」【関西二期会共催】 (KOBELCO 大ホール)	4. 3. 12 ～13 (2公演)	指揮：小林資典 演出：高岸未朝	2, 247
合 計 20事業 22公演				22, 633

※共催事業：①芸文センターのコンセプトに合致、ラインナップとバランス・整合・補強するもので、②共催者からの提案・事業誘致（営業）によって選定し、③広報券売協力に加え、収支リスク負担・施設設備使用料負担について条件協議を行う事業

② 国内外演劇・ミュージカル・古典芸能公演等（阪急 中ホール）

劇場・劇団とのネットワークにより、ストレートプレイ、一人芝居などの演劇をはじめ、ミュージカル、ダンス、狂言、落語など、幅広い層が楽しめる良質で多彩な演目を提供するとともに、シアターコンサート等、芸術文化センターならではの企画を展開した。

演 目		公演年月日	出演者等	入場者 (人)
(良質な作品制作実績のある公共劇場との連携) 演劇・ミュージカル等	パンドラの鐘 *東京芸術劇場との連携	3. 5. 13 ～15 (3公演)	演出：熊林弘高 出演：門脇麦、金子大地、松尾諭、 柗木玲弥、松下優也、緒川たまき ほか	1,815
	東京ゴッドファー ザーズ *新国立劇場との連携	3. 6. 11 ～12 (3公演)	演出：藤田俊太郎 出演：松岡昌宏、マキタスポーツ、夏子 ほか	1,167
	ハリネズミ *りゅーとびあ 新潟 市民芸術文化会館との 連携	3. 6. 26 ～27 (2公演)	演出：笹部博司 出演：渡辺徹、内博貴	出演者急病 により中止
	未練の幽霊と怪物 *KAAT 神奈川芸術劇場 との連携	3. 7. 3 ～4 (3公演)	演出：岡田利規 出演：森山未来、片桐はいり、栗原類 ほか	1,982
	森 フォレ *世田谷パブリックシ アターとの連携	3. 8. 7 ～8 (2公演)	演出：上村聡史 出演：成河、瀧本美織、岡本健一、 麻実れい ほか	968
	近松心中物語 *KAAT 神奈川芸術劇場 との連携	3. 10. 8 ～10 (3公演)	演出：長塚圭史 出演：田中哲司、松田龍平、笹本玲奈、 石橋静河 ほか	1,811
	Le Fils 息子 *東京芸術劇場との連 携	3. 10. 14 ～17 (6 公演)	演出：ラディスラス・ショラー 出演：岡本佳人、若村麻由美、伊勢佳世、 岡本健一 ほか	2,720
	彼女を笑う人がい ても *世田谷パブリックシ アターとの連携	3. 12. 29 ～30 (3公演)	演出：栗山民也 出演：瀬戸康史、木下晴香 ほか	1,724
	近藤芳正 solo work 「ナイフ」 *水戸芸術館との連携	4. 2. 11 (1公演)	演出：山田佳奈 出演：近藤芳正	466
	マーキュリー・フ アー *世田谷パブリックシ アターとの連携	4. 2. 26 ～27 (4公演)	演出：白井晃 出演：吉沢亮、北村匠海 ほか	3,022
	ラビット・ホール *KAAT 神奈川芸術劇場 との連携	4. 3. 12 ～13 (2公演)	演出：小山ゆうな 出演：小島聖 ほか	新型コロナ ウイルス感 染症の影響 により中止
	加藤健一事務所 「ドレッサー」	3. 4. 25 (1公演)	出 演：加藤健一 ほか	新型コロナ ウイルス感 染症の影響 により中止 (無観客)

演劇・ミュージカル等 (幅広い層が楽しめる良質で多彩な演目)	もしも命が描けた なら[関西テレビ共催]	3. 9. 3 ～5 (5公演)	演出：鈴木おさむ 出演：田中圭、黒羽麻璃央、小島聖	3,624
	ケムリ研究所 「砂の女」 [キューブ共催]	3. 9. 9 ～10 (3公演)	演出：ケラリーノ・サンドロヴィッチ 出演：緒川たまき、仲村トオル ほか	1,575
	検察側の証人 [CAT 共催]	3. 9. 16 ～20 (6公演)	演出：小川絵梨子 出演：小瀧望、瀬奈じゅん ほか	4,416
	Home, I' m Darling ～愛しのマイホーム～	3. 11. 12 ～14 (4公演)	演出：白井晃 出演：鈴木京香、高橋克実 ほか	1,717
	ザ・ドクター[サンライズプロモーション大阪、パルコ共催]	3. 12. 2 ～5 (5公演)	演出：栗山民也 出演：大竹しのぶ ほか	2,666
	愛するとき死するとき*世田谷パブリックシアターとの連携	3. 12. 11 ～12 (2公演)	演出：小山ゆうな 出演：浦井健治、高岡早紀 ほか	1,132
	ナイロン 100℃ イモンドの勝負 [キューブ共催]	3. 12. 18 ～19 (3公演)	演出：ケラリーノ・サンドロヴィッチ 出演：大倉孝二、みのすけ ほか	1,809
	二兎社公演 45 鵲外の怪談	4. 1. 8 (1公演)	演出：永井愛 出演：松尾貴史、瀬戸さおり ほか	749
ミュージカル	ブロードウェイと銃弾(東宝)[梅田芸術劇場共催] (KOBELCO 大ホール)	3. 6. 4 ～6 (4公演)	演出：福田雄一 出演：城田優、高木雄也 ほか	6,212
	17 AGAIN (ホリプロ) [梅田芸術劇場共催] (KOBELCO 大ホール)	3. 6. 11 ～13 (4公演)	演出：谷賢一 出演：竹内涼真 ソニン ほか	6,077
伝統芸能	春爛漫 茂山狂言会	3. 4. 4 (2公演)	出 演：茂山千五郎、茂山七五三、 茂山あきら ほか	877
	Cutting Edge Kyogen 真夏の狂言大作戦 2021	3. 7. 31 (2公演)	出 演：茂山千五郎 茂山宗彦、茂山茂、 茂山逸平、茂山千之丞 ほか	711
	万作萬斎狂言	3. 10. 19 ～20 (2公演)	出 演：野村万作、野村萬斎 ほか	795

	淡路人形浄瑠璃特別公演	4. 1. 22 (1公演)	出 演：淡路人形座	402
落 語 会	立川談春 独演会	3. 5. 3 (2公演)	出 演：立川談春	新型コロナ ウイルス感 染症の影響 により中止 (無観客)
	柳家小三治・柳家 三三親子会	3. 5. 21 (1公演)	出 演：柳家小三治、柳家三三	678
	笑福亭松喬 独演会	3. 6. 19 (1公演)	出 演：笑福亭松喬 ほか	407
	柳家喬太郎 独演会	3. 7. 22 (2公演)	出 演：柳家喬太郎 ほか	995
	桂吉弥 独演会	3. 8. 1 (1公演)	出 演：桂吉弥 ほか	641
	桂文珍 兵庫大独 演会 ～ネタのオ ートクチュール～	3. 10. 2 ～3 (2公演)	出 演：桂文珍 ほか	1,040
	秋の特選落語競演 会 2 0 2 1	3. 11. 23 (2公演)	出 演：桂南光、月亭八方 ほか	1, 130
	笑福亭鶴瓶	4. 1. 29 ～30 (2公演)	出 演：笑福亭鶴瓶	新型コロナ ウイルス感 染症の影 響により延 期
ダ 舞 踊 ス・	コンドルズ 2 0 2 1 兵庫スペシャル公演	3. 10. 23 (1公演)	出演：コンドルズ	485
合 計 3 0 事業 8 2 公演				53,813

③ 舞台の楽しみを広げる音楽オリジナル『シリーズ企画』

地元出身で世界を舞台に幅広い活躍を続ける音楽家や、世界の音楽・ダンスを集めた「世界音楽図鑑」、「古楽の愉しみ」によるアーリーミュージック、ジャズなどシリーズ企画により、芸術文化センターならではの良質で親しみやすい幅広いジャンルの公演で音楽系ファンの裾野を広げた。

演 目		公演年月日	出演者等	入場者（人）
世界音楽図鑑	黄昏のスウィング！ ジェントル・フォレスト・ジャズ・バンド（阪急中ホール）	3. 9. 23 (1公演)	出 演：ジェントル・フォレスト・ジャズ・バンド ほか	673
	LEO 箏りサイタル (神戸女学院小ホール)	3. 9. 25 (1公演)	出 演：LEO、ロー磨秀、林周雅	211

世界音楽図鑑	天翔けるバラライカ 北川翔&大田智美 (神戸女学院小ホール)	3. 10. 2 (1公演)	出 演：北川翔、大田智美	233
	東西の祈りの音楽～ 1000年の時を遡る (KOBELCO 大ホール)	3. 10. 5 (1公演)	真言宗声明：九州真言宗教師連合法親会 古楽アンサンブル：コントラボント金管 四重奏団 映像出演：ミラノ大聖堂聖歌隊	993
	ケルティック・クリスマス アヌーナ&ダーヴィッシュ (KOBELCO 大ホール)	3. 12. 2 (1公演)	出 演：アヌーナ、ダーヴィッシュ 他	新型コロナウイルス感染症の影響により中止
	タウトゥメイタス (阪急中ホール)	3. 5. 16 (1公演)	出 演：タウトゥメイタス	新型コロナウイルス感染症の影響により中止
	ドリーマーズ・サーカス ～アンデルセンコンサート (阪急中ホール)	3. 6. 13 (1公演)	出 演：ドリーマーズ・サーカス	新型コロナウイルス感染症の影響により中止
	灼熱のタランテラ イタリア (阪急中ホール)	3. 9. 23 (1公演)	出 演：カンツォニエーレ・グレカニ ーコ・サレンティーノ	新型コロナウイルス感染症の影響により中止
	カニサレス（フラメン コ・ギター）スペイン (神戸女学院小ホール)	3. 8. 8 (1公演)	ギター：カニサレス 他	新型コロナウイルス感染症の影響により中止
	スヴェング（ハーモニ カ）フィンランド (神戸女学院小ホール)	3. 11. 21 (1公演)	ハーモニカ：スヴェング	新型コロナウイルス感染症の影響により中止
	音楽で世界旅 かとうかなこカルテット (神戸女学院小ホール)	3. 11. 21 (1公演)	出 演：かとうかなこカルテット	375
古楽の愉しみ	クリスティアン・ベザイ デンホウト (神戸女学院小ホール)	3. 6. 2 (1公演)	チェンバロ：クリスティアン・ベザイ デンホウト	新型コロナウイルス感染症の影響により中止
	マリアン・コンソート (神戸女学院小ホール)	3. 9. 25 (1公演)	ア・カペラ：マリアン・コンソート	新型コロナウイルス感染症の影響により中止
	レ・ヴォワ・ユメヌ (神戸女学院小ホール)	3. 10. 2 (1公演)	出 演：レ・ヴォワ・ユメヌ	新型コロナウイルス感染症の影響により中止
	平崎真弓&クリスティア ン・ベザイデンホウト (神戸女学院小ホール)	3. 10. 17 (1公演)	バロック・ヴァイオリン：平崎真弓 フォルテピアノ：クリスティアン・ベ ザイデンホウト	新型コロナウイルス感染症の影響により中止
	ロナルド・ブラウティハム (神戸女学院小ホール)	3. 11. 13 (1公演)	フォルテピアノ：ロナルド・ブラウテ ィハム	新型コロナウイルス感染症の影響により中止
	ジャン・ロンドー&トー マス・ダンフォード (神戸女学院小ホール)	3. 12. 5 (1公演)	チェンバロ：ジャン・ロンドー リュート：トーマス・ダンフォード	新型コロナウイルス感染症の影響により中止

	川口成彦 フォルテピアノ・リサイタル (神戸女学院小ホール)	4. 2. 27 (1公演)	フォルテピアノ：川口成彦	415
クリスマス・ジャズ・フェスティバル	渡辺貞夫 70周年 記念コンサート (KOBELCO 大ホール)	3. 12. 5 (1公演)	出 演：渡辺貞夫 (アルトサックス) 渡辺貞夫オーケストラ	1, 685
	〈ステップ・シリーズ〉 オールスター・ジャムセ ッション！特別版 (KOBELCO 大ホール)	3. 12. 11 (1公演)	出 演：THE J. MASTERS 日野皓正 (トランペット) 本多俊之 (サックス) ほか	1, 237
	北村英治カルテット 音楽生活 70周年 (神戸女学院小ホール)	3. 12. 15 (1公演)	出 演：北村英治 (クラリネット) ほか	375
	大西順子ソロ “My Favorite SONGS” (神戸女学院小ホール)	3. 12. 17 (1公演)	出 演：大西順子 (ピアノ)	391
	黒田卓也クインテット ソウルフル・ナイト (阪急中ホール)	3. 12. 21 (1公演)	出 演：黒田卓也 (トランペット) ほか	658
	アロージャズオーケス トラ&東京キューバン ボーイズ ジャズVS ラテン (KOBELCO 大ホール)	3. 12. 25 (1公演)	出 演：アロージャズオーケストラ、 見砂和照と東京キューバンボ ーイズ	2, 062
	アトリエ澤野スペシャル (神戸女学院小ホール)	3. 12. 17 (1公演)	アトリエ澤野	新型コロナウイルス感染症の影響により中止
Catch シリーズ	森本隼太 ピアノリサイタル「魔王」 (KOBELCO 大ホール)	3. 11. 6 (1 公演)	ピアノ：森本隼太	957
河村尚子 プロジェクト	河村尚子 シューベルト・ プロジェクト第1回 (再掲) (神戸女学院小ホール)	4. 3. 12 (1 公演)	ピアノ：河村尚子	413
子ども向け コンサート	宮川彬良&アンサンブル・ベガ こどもの日ス ペシャル (再掲)	3. 5. 5 (1 公演)	出 演：宮川彬良&アンサンブル・ベガ	新型コロナウイルス感染症の影響により中止
合 計 14事業 14公演				10, 678

(5) 舞台芸術の普及・県民の創造活動支援

① プロムナード・コンサート、ワンコイン・コンサート等

(ア) プロムナード・コンサート (KOBELCO 大ホール)

人気・実力を兼ね備えた国内演奏家を招き、親しみやすいプログラムによる低額入場 (2,000 円程度) 公演を開催し、広範囲な集客 (裾野の拡大) をめざした。

演 目	公演年月日	出演者等	入場者 (人)
森麻季&林美智子デュオリサイタル	3. 5. 29	ソプラノ：森麻季 メゾソプラノ：林美智子 ほか	1,143
美しい日本の歌〜びわ湖 ホール声楽アンサンブル	3. 9. 10	びわ湖ホール声楽アンサンブル	1,124
竹澤恭子 ヴァイオリン・リサイタル	3. 10. 16 (1公演)	ヴァイオリン：竹澤恭子 ピアノ：津田裕也	1,013
日下紗矢子&ベルリン・ コンチェルトハウス室内 オーケストラ	3. 12. 4 (1公演)	出演： ベルリン・コンチェルトハウス室内オーケス ヴァイオリン：日下紗矢子	新型コロナウイルス感染症 の影響により 中止
アレクサンダー・コ布林	3. 12. 12 (1公演)	ピアノ：アレクサンダー・コ布林	新型コロナウイルス感染症 の影響により 中止
ネマニャ・ラドウロビッチ &ドゥーブル・サンス	3. 12. 19 (1公演)	ヴァイオリン：ネマニャ・ラドウロ ビッチ 弦楽合奏：ドゥーブル・サンス	新型コロナウイルス感染症 の影響により 中止
高野百合絵&黒田祐貴 デュオ・リサイタル	4. 1. 10 (1公演)	ソプラノ：高野百合絵 バリトン：黒田祐貴 ほか	931
侍 BRASS	4. 3. 6 (1公演)	金管八重奏：侍ブラス	1,808
合 計 5 事業 5 公演			6,019

(イ) ワンコイン・コンサート (入場料 500 円) (KOBELCO 大ホール)

県内外音楽コンクール受賞者など兵庫・関西ゆかりの新進気鋭の音楽家による 60 分のコンサートを平日の昼間に開催し、広範囲な集客 (裾野の拡大) をめざした。

出 演 者	公演年月日	出演者等	入場者 (人)
小林祐太朗 ～さまざまな顔をもつ ファゴット～	3. 4. 13 (1公演)	1992 年、千葉県八千代市出身。東京音楽大学卒業。 市川市文化振興財団第 25 回新人演奏家コンクール 管打楽器部門優秀賞受賞。2015 年小沢征爾音楽塾 オペラ・プロジェクト参加。現在、大阪フィルハーモニー 交響楽団第一ファゴット奏者。	1,162

儀間太久実 ～口笛・大革命！	3. 5. 14 (1公演)	関西学院大学総合政策学科卒業。2007 年アメリカの国際口笛大会インターナショナル・ウィラーズ・コンベンションのティーンカテゴリーポピュラー部門、クラシック部門総合優勝。日本口笛音楽協会理事。2007 年佐渡裕芸術監督プロデュースオペラ「魔笛」前夜祭（西北活性化協議会主催）出演。	1, 310
佐々木賢二 ～チェロ、魅力あふれる 旋律 PACオーケストラ	3. 6. 22 (1公演)	インターロックンアーツアカデミー、イーストマン音楽院、クリーヴランド音楽院修士課程修了と共にスズキメソード教員資格取得。ファイアーランドシンフォニーオーケストラ、シビックオーケストラ・オブ・シカゴ、それぞれで首席を務める。現在、兵庫芸術文化センター管弦楽団にてフォアシューピラーを務める。	1, 047
萬谷衣里 ～ピアノからの贈り物	3. 8. 6 (1公演)	大阪市出身。京都堀川音楽高校、東京藝術大学器楽科卒業、同大学大学院修士課程修了。ドイツ国立ロストック音楽演劇大学ピアノ科および内楽科卒業。リスト国際ピアノコンクール最高位、はじめ国際コンクール入賞多数。ルーマニア国際音楽コンクール第1位。2014 年度青山音楽賞「音楽賞」（現青山賞）を受賞。現在ドイツ国立ロストック音楽演劇大学ピアノ科非常勤講師。	1, 167
『クレモナ』モダンタンゴ・ラボラトリ ～魂を揺さぶる情熱の木管四重奏団	3. 9. 24 (1公演)	国内で唯一のプロの「モダンタンゴ」専門の室内楽団。第10回横浜国際音楽コンクールアンサンブル部門室内楽一般の部第3位、第23回ブルクハルト国際音楽コンクールアンサンブル部門歴代最高位。	1, 620
白石優子 ～麗らかなソプラノが導く、秋の旅	3. 10. 19 (1公演)	大阪音楽大学音楽部声楽学科卒業。第7回東京国際声楽コンクール一般声楽家部門奨励賞、第26回リトルカメリアコンクール大阪21世紀協会賞等受賞。堺シティオペラにてドヴォルザーク「ルサルカ」皇女役でオペラデビュー、みつなかオペラではプッチーニ「外套」のジョルジュッタなどに出演。現在、関西二期会、堺シティオペラ、宝塚演奏家連盟各会員。	1, 293
福田えりみ ～トロンボーン、音楽の花束	3. 11. 5 (1公演)	西宮市在住。令和元年7月に兵庫県内の小学生を対象としたアウトリーチ事業での演奏、兵庫県吹奏楽連盟主催第66回兵庫県吹奏楽コンクール神戸地区大会に於いて審査。大阪フィルハーモニー交響楽団首席トロンボーン奏者。	1, 190
久末 航 ～音が舞う！華麗なるピアノの世界	3. 12. 1 (1公演)	滋賀県出身。ドイツ・フライブルク音楽大学を最優秀の成績で卒業。ベルリン芸術大学大学院・現在同大学院2年次在学中。2009年度青山音楽賞新人賞を史上最年少で受賞。第7回リヨン国際ピアノコンクール第1位および聴衆賞、メンデルスゾーン全ドイツ音楽大学コンクール第1位および Deutscher Pianistenpreis 賞、第66回ミュンヘン国際音楽コンクール第3位、および特別賞受賞。	1, 340

葵トリオ（ピアノ三重奏）	4. 1. 5 (1公演)	東京藝術大学、サントリーホール室内楽アカデミー第3期生として出会い、2016年に結成。2018年第67回ミュンヘン国際音楽コンクールピアノ三重奏部門、日本人団体史上初の第1位。 ●小川響子（ヴァイオリン）奈良県橿原市出身。元スーパーキッズ・オーケストラメンバー、東京藝術大学大学院修士課程首席で卒業。東京音楽コンクール弦楽部門第1位、受賞多数。 ●伊東裕（チェロ）奈良県生駒市出身。東京藝術大学音楽学部首席で卒業。2012年3月ワンコイン・コンサート出演。日本音楽コンクールチェロ部門第1位。 ●秋元孝介（ピアノ）西宮市出身。東京藝術大学、同大学院修士課程首席で卒業。2019年3月ワンコイン・コンサート出演。	1,485
崔 勝貴 ～サクソフォンが魅せる多面性	4. 2. 25 (1公演)	尼崎市出身。大阪音楽大学卒業、同大学大学院修士課程修了。第1回堺学生管楽器ソロコンクールにおいて優秀賞受賞。第35回アゼリア推薦新人演奏会オーディションに合格し同演奏会に出演。 大阪音楽大学、同大学付属音楽院、神戸山手女子高等学校音楽科各講師。	1,542
前田妃奈 ～春を呼ぶ美しいヴァイオリン	4. 3. 26 (1公演)	豊中市出身。8歳より佐渡裕とスーパーキッズ・オーケストラに在籍。2017年度にはコンサートミストレスを務める。2017年京都芸術祭音楽部門奨励賞を受賞。 第88回日本音楽コンクール第2位、併せて岩谷賞を受賞。第18回東京音楽コンクール第1位。東京音楽大学付属高等学校2年に特別特待奨学生として在学中。	1,939
合 計		11事業 11公演	15,095

<音楽事業アドバイザー会議>

センターの主催する音楽事業の中で、兵庫・関西ゆかりの若手アーティスト・人材を登用する普及事業（ワンコイン・コンサート等）の出演者候補について発掘・審議するため、音楽事業アドバイザー会議を開催
(アドバイザー)

中村孝義（大阪音楽大学理事長）、響敏也（音楽評論家）、藤本賢市（神戸新聞文化財団）、青木さやか（読売新聞大阪本社学芸部記者）

(ウ) ワンコイン・コンサート NO.1 アーティスト アンコール・リサイタル

2020年の出演アーティストの中から選出（神戸女学院小ホール）

演 目	公演年月日	出演者等	入場者 (人)
大谷雄一 チェロ・リサイタル	4. 3. 4 (1公演)	大谷雄一（チェロ）	416
合 計		1事業 1公演	416

(エ) ワンコイン・コンサート出演者お披露目 新春・顔見世コンサート

次年度ワンコイン・コンサート出演者と新年を祝うコンサート

(KOBELCO 大ホール)

演 目	公演年月日	出演者等	入場者 (人)
2022 年度ワンコイン・コンサート出演者お披露目 新春・顔見世コンサート	4. 1. 3 (1公演)	サイモン・ポレジャエフ (コントラバス)、坂本 彩 (ピアノ)、中田 麦 (マリンバ)、林 周雅 (ヴァイオリン)、坂東裕香 (ホルン)、水谷友彦 (ピアノ)、水野智絵 (ソプラノ)、湯浅貴斗 (バス)、吉村結実 (オーボエ)、關口康祐 (ゲスト/ピアノ)	1,574
合 計 1 事業 1 公演			1,574

(オ) ワンコイン・プレ・レクチャー(阪急 中ホール)

芸術監督プロデュースオペラをより楽しんでいただくため、オペラ歌手によるハイライトコンサートを開催。また、専門家、演奏家等のレクチャー・トークを実施し、広範囲な集客(裾野の拡大)をめざした。

演 目	公演年月日	出演者等	入場者 (人)
喜歌劇「メリー・ウィドウ」 ハイライトコンサート ～ええとこどり！(再掲)	3. 4. 15 ～17 (3公演)	出 演：北野智子、端山梨奈、中川正崇、迎肇聡、井原敏行 構成・ステージング：橋本恵史	2,155
	3. 4. 18 4. 24 10. 15 10. 24 (3 公演)	稲美町立文化会館コスモホール 洲本市文化体育館 文化ホール*中止 小野市うるおい交流館エクラホール 丹波篠山市立田園交響ホール	(762)
喜歌劇「メリー・ウィドウ」 ワンコイン・プレ・レクチャー (阪急中ホール) (再掲)	3. 5. 26 (2公演)	講 師：中村敬一 (演出家) 出 演：高野百合絵、掛川歩美	1,292
	3. 6. 24 (2公演)	講 師：小宮正安 (ヨーロッパ文化史研究家・音楽評論家)	926
合 計 3 事業 7 公演 3 事業 3 公演 (県内公演)			4,373 県内(762)

(カ) ドリーム・コンチェルト (KOBELCO 大ホール)

ワンコイン・コンサート出演者と芸術文化センター管弦楽団によるスペシャル・コンサートを開催した。

演 目	公演年月日	出演者等	入場者 (人)
ドリーム・コンチェルト *冠協賛：西宮ロータリークラブ H24 年から 9 回目 協賛継続	3. 5. 22 (1公演)	指 揮：瀬山智博 出 演：古瀬まきを (ソプラノ)、谷浩一郎 (テノール)、太田糸音 (ピアノ) 管弦楽：兵庫芸術文化センター管弦楽団	1,231
合 計 1 事業 1 公演			1,231

(キ) 舞台芸術団体フェスティバル(共催)(県域団体)

演 目		公演年月日	主催団体	入場者 (人)
KOBELCO大ホール	第 50 回西宮市少年少女合奏団定期演奏会 (記念演奏会)	3. 8. 20 (1公演)	兵庫県音楽活動推進会議／ 西宮市少年少女合奏団	322
	2021 年度兵庫県合唱 コンクール中学校・高 等学校の部	3. 8. 21 (1公演)	兵庫県合唱連盟	1, 629
KOBELCO大ホール	Cheer ボーイス HyoGO!1 st コンサート	3. 9. 11 (1公演)	兵庫県音楽活動推進会議／Cheer ボーイス	329
	ふれあいの祭典 「第 48 回兵庫県交響 楽祭」	3. 9. 12 (1公演)	兵庫県オーケストラ協議会	370
阪急中ホール	ふれあいの祭典 ひょうご演劇祭 演劇 「うちへ帰ろう」	3. 8. 21 (1公演)	兵庫県劇団協議会／ 劇団自由人会	272
	シェイクスピアに会 いたくて「夏の夜の 夢」	3. 8. 22 (1公演)	兵庫県洋舞家協会	317
	ミュージカル「モン キーパラダイス 2021 ～子猿たちの冒険」	3. 8. 29 (1公演)	(公財) 姫路市文化国際交流財団／ Kei Music Street	170
	中国現代劇「わが家 の客」(原題:「家 客」)	3. 9. 25 (1公演)	兵庫県劇団協議会／(一社)劇団道化座	392
	ふれあいの祭典 ひょうご邦楽の祭典	3. 9. 26 (1公演)	兵庫県箏絃連盟	255
神戸女学院小ホール	男と女のカンツオー ネ Vol. 3	3. 8. 29 (1公演)	兵庫県音楽活動推進会議／ 神戸オペラカンパニー	206
	第 43 回～若い芽を育 む～阪神ジュニア音 楽コンクール予選	3. 9. 19 (1公演)	阪神南文化振興団体連絡協議会／尼崎 市文化団体協議会	455
	第 28 回アルカディア 特別演奏会 一煌めきラヴリーコ ンサートー	3. 9. 26 (1公演)	阪神南文化振興団体連絡協議会／ (公財)アルカディア音楽芸術財団	181
合 計		1 2 事業	1 2 公演	4, 898

② ピッコロ劇団公演（共催）（阪急 中ホール）

演 目	公演年月日	出演者等	入場者 (人)
ファミリー劇場 グリム兄弟！ ～みんなのメルヘン 聞か せてダンケ～	3. 12. 25 ～26 (3公演)	作 : 早船 聡 (サスペンデッズ) 演 出 : 平井久美子 (ピッコロ劇団) 音 楽 : 園田容子 出 演 : ピッコロ劇団員 ほか	1,045
兵庫県立ピッコロ劇団 第72回公演 ピッコロシ アタープロデュース 「脚気にしやがれ！」	4. 2. 18 ～2. 20 (5公演)	作・演出 : G 2 出 演 : ピッコロ劇団員 ほか	1,075
合 計 2事業 8公演			2,120

【芸術文化センター事業 評価】

【プロデュース公演】

- 1 新型コロナウイルスの影響で芸術監督プロデュースオペラは令和2年度は上演中止となったが、令和3年度は「メリー・ウィドウ」8公演を上演したに加え、日本オペラプロジェクト「夕鶴」2公演を上演した。定期的なPCR検査はじめ昨年度より積み上げてきた実践的な感染対策を最大限に活用しながら高い芸術水準で実現することができたものの、感染対策の評価と見直しが必要である。
- 2 コロナ水際対策により、海外招聘公演はR3年度も大きな影響を受けたが、邦人公演、国内で製作している公演は、コロナ禍においても徹底した感染対策により無事上演できた。
- 3 新型インフルエンザ等対策措置法による緊急事態宣言、あるいはまん延防止等重点措置にともない、イベントの開催制限が、無観客開催→収容率要件50%→100%と変遷するが、チケット販売動向の回復は極めて鈍いものとなった。
- 4 プロデュースオペラ関連イベントの県内4会場(稲美町、洲本市、小野市、丹波篠山市)での「ハイライトコンサート」は、感染拡大の影響で1公演・洲本市が中止となったが、3会場で実施。(うち小野市・丹波篠山市の2公演は、5月から10月に日程延期して実施した。)
- 5 芸術文化センター及び制作元の感染対策の徹底により公演を継続実施することで、お客様に貴重な鑑賞の機会を提供するとともに、創作に関わる人材・団体の支援に資することができた。

【多彩な主催公演】

- 1 政府の水際対策強化等の理由で招聘型公演の中止が相次いだが、マネジメント事務所との連携によりクリスチャン・ツイメルマンやエマニュエル・パユ等世界トップアーティストの来日公演が実現した。そして、国内アーティストの積極的登用で継続的に公演を実施することで、お客様に上質な鑑賞機会を提供することができた。
- 2 令和2年度後期は、国内のバレエ・オペラ団体の大規模公演を実施し、大規模舞台芸術専門劇場としての存在感をアピールした。オミクロン株が猛威を振るい全国的に公演中止が相次ぐ中ではあったが、昨年度より蓄積しプロデュースオペラの実施で広げた感染対策の知見を活かし、制作団体と共有・実行することで公演実現に至った。
- 3 芸術文化センター及び制作元の感染対策の徹底により公演を継続実施することで、お客様に貴重な鑑賞の機会を提供するとともに、創作に関わる人材・団体の支援に資することができた。

【特色あるシリーズ企画・舞台芸術の普及】

芸術文化センターならではの特色あるシリーズ企画を実施。

- 1 「世界音楽図鑑」(ワールドミュージック)、「古楽の愉しみ」(アーリーミュージック)は海外招聘公演が不可能となったが、新たな公演を企画、映像を活用すること等により6公演の実施が叶った。世界音楽図鑑の新規企画では、ファミリー層向けの公演や関連企画のワークショップも開催。幅広い層に向けて、海外渡航が困難な昨今に身近な劇場で世界の音楽に親しんでいただく機会となった。
- 2 プロムナード・コンサートは、日本を代表する演奏家により5公演実施。声楽、ヴァイオリン、ブラス、合唱と多彩なジャンル、上質な内容を低料金で提供。若年者から高齢者まで、初心者からコアなファンまで、生の舞台芸術の感動を共有することができた。
- 3 クリスマスジャズフェスティバルは、渡辺貞夫、北村英治、日野皓正とベテラン奏者を中心とした公演を実施。演奏者と同年代の70～90歳代およびジャズファンの年に1度の愉しみとして定番化。高齢者層の外出の機会を創出。また、活力を与える機会となった。
- 4 新規シリーズとして、舞台芸術にはじめて触れる方を対象として新たなジャンルへ誘う「ステップシリーズ」を立ち上げ、初回はジャズ公演で実施。舞台芸術の愉しみ方を提供した。
- 5 ワンコイン・コンサートなどは、低料金の公演を通じて舞台芸術の普及(ファンの拡大)促進・定着に貢献した。新型コロナの影響で閉じこもり気味になるなか、万全の対策により観客の皆様は低料金で楽しんでいただけた、生の舞台芸術の感動を共有することができた。

平日・午前中のコンサートとあって、顧客層は老年層・主婦が大半である。新型コロナウイルス感染拡大による出控えもあり、満席にならない状況が続いていたがワクチン接種の効果もあって徐々に観客数は戻りつつある。

【県民の創造活動支援】

文化プロデューサーの河内特別参与の指導のもと、阪神間に縁の深いテーマや演目の伝統芸能公演を関西出身の演者により継続実施した。

令和 2 年度に、新型コロナウイルスの影響により延期した「ひょうごの民俗芸能祭 第二弾 五国のまつりと城めぐり～」を開催し、摂津、丹波、但馬、播磨、淡路の旧五国を鉄道で巡り、訪れる土地に伝わる民俗芸能を順に舞台上で上演した。その土地にある城跡を映像により紹介し、神社などの神事ともつながりのある民俗芸能は、その時、その土地に行かなければ目にすることができないことから、それらをホールで上演することにより、それぞれの地域の特色と魅力を一度に知っていただける機会となった。

舞台芸術団体フェスティバルでは、県民の創造活動の檜舞台を提供した。新型コロナウイルス流行後、初めて公演を行う団体もあり、感染症対策を各団体と共有してコロナ禍でも安全な上演に努め、地域文化の発信、文化力向上を支援した。

参考(事業数)

	当初計画	内中止	新規企画	実施
世界音楽図鑑	7	6	4	5
古楽の愉しみ	7	6	0	1
プロムナード	5	3	3	5
ジャズフェス	6	1	1	6

【主催事業数・公演数】

主催事業数・公演数の合計は、120 事業 241 公演(外部公演除く)となり、新型コロナウイルス感染症拡大前の令和元年度の 153 事業 320 公演と比較すると 75%程度に回復している。

2 兵庫芸術文化センター管弦楽団事業

兵庫県立芸術文化センター専属のプロオーケストラとして、毎年世界各地でオーディションを実施し、優秀な若手演奏家を中心に構成する兵庫ならではのユニークな『フレッシュでインターナショナル』なオーケストラ。また、兵庫から世界に人材を育て発信する『オーケストラアカデミー』の要素も有する「兵庫芸術文化センター管弦楽団」では、①定期演奏会の開催、プロデュースオペラ公演への出演をはじめ、②室内楽演奏会や③県内各地でのアウトリーチ活動など、「パブリックシアター」にふさわしい多彩な活動を展開した。（県内41市町一巡達成 H26.4月）

- ・芸術監督：佐渡裕
- ・レジデント・コンダクター：岩村力
- ・コンサートマスター：四方恭子、田野倉雅秋、豊嶋泰嗣
- ・ミュージック・アドバイザー：水島愛子
- ・基本編成：14パート48人（10型2管編成、35歳以下、3年契約、全国・世界各地でのオーディションで選抜）

※新型コロナの影響で2021～22シーズンオーディション中止

楽団員（コアメンバー）在籍1年間延期（令和4年8月まで）及び2021～21シーズンオーディション合格者新入団の1年間延期（令和4年9月から）

2020～21 シーズンオーディション

- ・世界の優れた若手演奏家の確保
- ・毎年概ね1/3程度交代ローテーションへの円滑な移行

【募集人員】ヴァイオリン等8パート19人

【募集期間】2019年8月～12月

【実技審査】2月 アメリカ（ニューヨーク）・ヨーロッパ（ミュンヘン）・西宮・東京

【総合審査】3月 ウィーン（佐渡裕芸術監督）

＜コアメンバー 令和4年4月時点の状況＞

1年目：15人、3年目：15人、4年目：8人 14パート38人、国籍：9カ国、平均年齢：28.4歳

＊新メンバー契約期間：R3.9～R6.8

① 演奏会活動 27事業47公演（センター事業：4事業12公演（再掲）を除く）

フレッシュでインターナショナルなオーケストラの魅力ある演奏会を実施。

（ア）定期演奏会（KOBELCO 大ホール）

佐渡裕芸術監督をはじめ、世界一流の客演指揮者やソリストを招聘し、古典から現代曲までの魅力あるレパートリーを、大小さまざまな編成で演奏し、質の高い芸術性を追求した。

＊舞台芸術創造活動活性化事業助成（令和3年度公演）

演 目	公演年月日	出演者等	入場者(人)
〔2021-2022 シーズン〕 第126回 イヴァン：フルート協奏曲	3. 9. 17 ～19 (3公演)	指 揮：佐渡 裕 フルート：工藤重典	3,847
第127回 ラフマニノフ：ピアノ協奏曲第2番	3. 10. 22 ～24 (3公演)	指 揮：川瀬賢太郎 ピアノ：清水和音	3,844
第128回 ベートーヴェン：ヴァイオリン協奏曲	3. 11. 26 ～28 (3公演)	指 揮：ユベール・スダーン ヴァイオリン：竹澤恭子	3,736

第129回 マーラー：交響曲第4番	4. 1. 14 ～16 (3公演)	指 揮：佐渡 裕 アコーディオン：御喜美江 語 り：白鳥玉季 ソプラノ：石橋栄実	4,301
第130回 バルトーク：ヴァイオリン協奏曲	4. 2. 11 ～13 (3公演)	指 揮：下野竜也 ヴァイオリン：川本嘉子	3,968
第131回 シベリウス：ヴァイオリン協奏曲	4. 3. 18 ～20 (3公演)	指 揮：ピエタリ・インキネン ヴァイオリン：川久保賜紀	4,516
第132回 プロコフィエフ：ヴァイオリン協奏曲 第1番	4. 4. 15 ～17 (3公演)	指 揮：井上道義 ヴァイオリン：服部百音	—
第133回 コプランド：クラリネット協奏曲	4. 5. 13 ～15 (3公演)	指 揮：佐渡 裕 クラリネット：ラスロ・クティ	—
第134回 ショスタコーヴィチ：ピアノ協奏曲第2番	4. 6. 10 ～12 (3公演)	指 揮：下野竜也 ピアノ：石井楓子	—
合 計 6事業 18公演（令和3年度）			24,212

*2020-2021 シーズン定期会員数 2,732（金曜 899、土曜 975、日曜 858）

（イ）特別演奏会（KOBELCO 大ホール）

名曲コンサートなど親しみやすい公演により幅広い観客ニーズに応え、クラシックファン層を拡大。

演 目	公演年月日	出演者等	入場者(人)
第37回名曲コンサート (KOBELCO 大ホール)	3. 4. 24 (1公演)	指 揮：原田慶太楼 ピアノ：上原彩子	1,835
特別演奏会 燃えよ道義 炎の音楽 *定期演奏会代替 (KOBELCO 大ホール) *舞台芸術創造活動活性化事業助成	3. 6. 19 ～20 (2公演)	指 揮：井上道義 ピアノ：松田華音	1,771
特別演奏会 PAC with ベートーヴェン 第3回 *定期演奏会代替 (KOBELCO 大ホール) *新型コロナのために中止にな った3. 4. 11からの振替公演 *舞台芸術創造活動活性化事業助成 *（公財）アフィニス文化財団助成	3. 10. 9 (1公演)	指 揮：佐渡 裕	1,559
特別演奏会 プロデビュー35年 豊嶋泰嗣 バルトークを弾く！ (KOBELCO 大ホール)	3. 12. 17 (1公演)	指 揮：広上淳一 ヴァイオリン：豊嶋泰嗣	779
合 計 4事業 5公演			5,944

(ウ) 室内楽シリーズ（神戸女学院小ホール）

バロックから現代曲まで、さまざまなレパートリーを多様な編成で演奏し、室内楽の魅力を伝える。芸術文化センター管弦楽団コアメンバーと特別契約奏者との組み合わせにより、幅広い編成で高度な公演を実現している。

演 目		公演年月日	出演者等	入場者(人)
室内楽シリーズ	第 67 回 PAC STRINGS !	3. 5. 15 (1公演)	ヴァイオリン：田野倉雅秋	373
	第 68 回 PAC WINDS !	3. 6. 12 (1公演)	オーボエ：古部賢一	281
	第 69 回 PAC BRASS!	3. 6. 30 (1公演)	トランペット：菊本和昭	241
合 計 3 事業 3 公演				895

(エ) センター事業への出演 4 事業 12 公演（再掲）

佐渡芸術監督のプロデュースするオペラ・コンサート公演等で演奏。

② 体験教育・普及活動

(ア) 青少年芸術体験事業「わくわくオーケストラ教室」の実施 35 公演 [KOBELCO 大ホール]

兵庫県内の中学 1 年生（約 5 万人全員）を対象に、本格的な交響楽団の演奏に親しむ機会を設けることにより、これからの社会を担う生徒の豊かな感性、創造力を育むとともに、音楽教育（体験教育）の振興を図った。

【企 画】佐渡裕芸術監督

【指 揮】岩村力 ほか

【内 容】第 1 部 参加・体験コーナー：ホールの紹介、楽器紹介
第 2 部 鑑賞コーナー：楽曲の紹介、演奏会

【公演時間】約 1 時間（70 分）

【時 期】令和 3 年 9 月 29 日（水）～令和 4 年 2 月 15 日（火）

【実 績】201 校 22, 897 人（引率教員等含む）

(イ) わくわく Online オーケストラ教室 「妖精パックのオーケストラってなぁ～に？」の実施

佐渡裕芸術監督（企画・台本）と兵庫芸術文化センター管弦楽団による動画配信企画（YouTube にて配信中）

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い音楽教育が制限される中、少しでも子どもたちの一助となるために制作。

令和 2 年度：「幻想交響曲」（ベルリオーズ）収録・配信

令和 3 年度：「新世界より」（ドヴォルザーク）収録

(ウ) アウトリーチ活動

芸術文化センターからの遠隔地域や日頃音楽に触れる機会の少ない方々に音楽の魅力・感動を伝え、音楽の普及と楽団の PR を図るため、アウトリーチ活動を展開し、活動先については公募制度も導入・実施（医療機関、福祉施設、小中高等学校、参画と協働を実践する地域活動への参加等）。

*平成 29 年度～小学校・特別支援学校向けアウトリーチ（公募）を実施している。

＊令和３年度～青少年リモートレッスン人材育成事業（県内中高生部活動等における演奏指導をリモートで実施）を新たに実施している。

【実績】２回

- ・プロデュースオペラ「メリー・ウィドウ」前夜祭 7月15日
- ・ともしびの賞贈呈式（県公館）での演奏 11月29日

小学校・特別支援学校等アウトリーチ

【実績】１３校１３回

- ・尼崎市立武庫の里小学校 6月4日
- ・丹波市立鴨庄小学校 6月4日
- ・姫路市立八木小学校 6月7日
- ・小野市立小野特別支援学校 6月7日
- ・南あわじ市立湊小学校 6月8日
- ・丹波篠山市立多紀小学校 6月8日
- ・三田市立学園小学校 11月15日
- ・三田市立すずかけ台小学校 11月15日
- ・川西市立清和台南小学校 11月15日
- ・猪名川町立つつじが丘小学校 11月15日
- ・宝塚市立小浜小学校 12月 6日
- ・姫路市立書写養護学校 12月 7日
- ・姫路市立太市小学校 12月 7日

青少年リモートレッスン人材育成事業

【実績】１０校１４回

- ・県立但馬農業高校 11月5日
- ・県立八鹿高等学校 11月6日、1月22日
- ・県立香住高等学校 12月7日
- ・県立日高高等学校 12月18日
- ・豊岡市立但東中学校 12月19日
- ・県立豊岡高等学校 2月14日、3月7日
- ・豊岡市立出石中学校 11月15日、12月1日
- ・朝来市立朝来中学校 11月20日
- ・県立和田山高等学校 1月22日、2月5日
- ・朝来市立和田山中学校 1月23日

（エ）スーパーキッズ・オーケストラ事業

オーディションによって選ばれた子どもたち（小学生から高校生まで）が佐渡芸術監督指揮のもとに演奏活動を行った。

（a）合宿（養父市）

佐渡芸術監督が音楽監督を務めるトーンキーンストラ管弦楽団およびグラフェネック音楽祭事務局の全面的な協力のもとで実施した。

【日程】7月26日（月）～27日（火）

【内容】練習（やぶ市民交流広場）

(b) 復興祈念被災地訪問活動

・東日本大震災復興祈念演奏活動

「こころのビタミンプロジェクト in 東北」2021 (岩手県3会場)

＊指揮：佐渡芸術監督、＊サントリー「東北サンさんプロジェクト」

【日程】8月6日(金)～8月7日(土)

【スケジュール】8月6日(金) 吉祥寺(岩手県大槌町)

8月7日(土) 宝来館(岩手県釜石市)、釜石鶴住居復興スタジアム(岩手県釜石市)

・東日本大震災復興祈念演奏活動

「こころのビタミンプロジェクト in 東北」2022 (岩手県6会場)

＊指揮：佐渡芸術監督

＊サントリー「東北サンさんプロジェクト」

＊「さんりく音楽祭2022」(主催：岩手県)

【日程】3月19日(土)～3月21日(月・祝)

【スケジュール】3月19日(土) 宮古市文化会館(岩手県宮古市)、

3月20日(日) 釜石市民ホール TETTO(岩手県釜石市)、宝来館(岩手県釜石市)、
吉祥寺(岩手県大槌町)

3月21日(月・祝) 東日本大震災津波伝承館(岩手県陸前高田市)、
陸前高田市市民文化会館(岩手県陸前高田市)

(c) 演奏会「佐渡裕とスーパーキッズ・オーケストラ」(KOBELCO 大ホール)

【日程】9月4日(土)、5日(日) 2公演 入場者数 2,794人

(d) その他の活動

・日本小児科学会学術集会

【日程・場所】4月18日 国立京都国際会館

・岩湧寺ランタンイベント

【日程・場所】10月16日 岩湧寺(京都市・2回)

・やぶ市民交流広場オープンハウスコンサート

【日程・場所】11月28日 やぶ市民交流広場

・グリーンフォレスト丹波篠山コンサート

【日程・場所】12月25日 丹波の森公苑(2回)

・スーパーキッズ・オーケストラ 明石公演

【日程・場所】2月6日 明石市立西部市民会館

・スーパーキッズ・オーケストラ 大和郡山公演

【日程・場所】2月27日 やまと郡山城ホール

・スーパーキッズ・オーケストラ 川西公演

【日程・場所】3月13日 川西キセラホール

③ 多彩な演奏活動

楽団の魅力を広く県内・全国へPR(県内外からの依頼公演等)

(ア) 県内外ホールと連携した演奏活動

佐渡裕芸術監督指揮によるシーズンオープニング・フェスティバルと同演目によるコンサート

明石市(明石市民会館)

9月20日(月・祝)

加西市(加西市民会館)

9月22日(水)

多可町(ベルディーホール)

9月23日(木・祝)

(イ) 幅広いニーズに対応した演奏活動

- (a) ファイナルファンタジー・オーケストラコンサート (大阪国際会議場) 2公演 4月17日(土)～4月18日(日)
- (b) いしかわ・金沢 風と緑の楽都音楽祭 2021 (石川県立音楽堂) 5公演
5月3日(月祝)～5月5日(水・祝)
- (c) 市立西宮高校創立 100 周年 (KOBELCO 大ホール) 10月3日(日)
- (d) 関西大学第一中学校 音楽鑑賞会 (KOBELCO 大ホール) 10月29日(金)
- (e) 須磨学園 (神戸国際会館) 11月4日(木)
- (f) 武庫川コンチェルト (甲子園会館) 11月14日(日)
- (g) 1万人の第九 (大阪城ホール) 12月5日(日)
- (h) オケストラ・キャラバン 廿日市市公演(はつかいち文化ホール) *外部公演 12月12日(日)
*文化庁・大規模かつ質の高い文化芸術活動を核としたアートキャラバン事業
- (i) オペラ de 神戸「椿姫」(神戸文化ホール) 2公演 令和4年1月7日(金)～1月8日(土)

④ コアメンバー演奏力の強化

(ア) PAC シーズンオープニング・フェスティバル (ミュージックキャンプ)

若手育成という当楽団の性格から、そのミッションの一つであるアカデミー機能のより一層の強化、充実を目的に、シーズン・スケジュールの初め(9月)に国内外より著名な指導者陣(スペシャル・ゲスト・プレイヤー)を招き、オーケストラのレベルアップに不可欠なアンサンブル力の強化を図った(ミュージックキャンプ)。

また、芸術文化センターだけでなく、県内市町の文化施設においても開催(共同主催)することで、地域における音楽文化の発展に寄与した(フェスティバル)。

*新型コロナウイルスの影響で公演が中止になったため、無観客で上演し、動画配信を行った。

【時期】 9月7日(火)～11日(土) 5日間

*その直後の佐渡監督指揮第126回定期演奏会(9/17～9/19)に成果を繋げる

【会場】 やぶ市民交流広場、芸術文化センター

【内容】 ①室内楽プログラム (スペシャル・ゲスト・プレイヤーのリーダーシップ)
②オーケストラプログラム (指揮: 佐渡芸術監督)
③マスタークラス等

【スケジュール】 9月7日(火)～9日(木) シーティングオーディション、オーケストラ練習等実施(芸術文化センター)
9月10日(金)～11日(土) オケストラ練習、無観客で上演し、動画を配信(養父市)等
*外部公演 1事業 1公演

【出演】 佐渡裕 (指揮・芸術監督)

兵庫芸術文化センター管弦楽団 (コアメンバー)

スペシャル・ゲスト・プレイヤー

- ・豊嶋泰嗣 (Vn PAC コンサートマスター)
- ・水島愛子 (Vn PAC ミュージック・アドバイザー・元バイエルン放送響)
- ・戸上眞里 (Vn 東京フィル首席)
- ・小野富士 (Va 元NHK響次席)
- ・渡邊辰紀 (Vc 東京フィル首席)
- ・黒木岩寿 (Cb 東京フィル首席)
- ・古部賢一 (Ob 東京音大准教授・新日本フィル客員首席)
- ・五十畑勉 (Hn 東京都響)
- ・高橋敦 (Tp 東京都響首席)
- ・ミヒャエル・ヴラダー (Timp ウィーン響首席) ほか

(開催地) 平成25年洲本市⇒平成26年豊岡市⇒平成27年洲本市⇒平成28年篠山市⇒平成29年赤穂市⇒平成30年篠山市
⇒令和元年明石市⇒令和2年洲本市(中止)⇒令和3年養父市(合宿・無観客で上演し、動画を配信)

(イ) 世界トップ級の奏者を、ソリスト、客演コンマス、パートトップとして招聘(特別契約奏者)。

共演、指導(マスタークラス)により、コアメンバーが世界一流の演奏技術などを体感できる機会を設けた。

竹澤恭子(Vn)、川久保賜紀(Vn)、ペーター・ヴェヒター(Vn)、川本嘉子(Va)、古部賢一(Ob)、工藤重典(Cl)、菊本和昭(Tp)、ミヒヤエル・ヴラダー(Timp)ほか

【兵庫芸術文化センター管弦楽団事業 評価】

【新型コロナウイルス感染拡大の影響と対応】

- 新型コロナウイルスの影響で令和2年9月入団を1年間延長したコアメンバー15人が令和3年9月に入団することができた。
- コロナ禍の中で、オンラインを活用した「わくわく Online オーケストラ教室」を制作・配信しているが、より一層学校で活用してもらえるようにDVDを製作し、県内小・中学校に配布した。

(1) 演奏会活動

- 新型コロナウイルス感染症の影響により中止していた定期演奏会を2021-22シーズン(令和3年9月)から以前と同様1事業3公演で再開し、令和3年度には6事業18公演を実施することができた。海外から指揮者やソリストが招聘できない公演もあり、出演者の変更などを余儀なくされたが、国内アーティストに変更することで中止することなく開催した。
しかしながら、度重なる出演者変更が顧客のチケット購買意欲に少なからず影響していると考えられる。
- また、特別演奏会は定期演奏会の代替公演も含め4事業5公演、室内楽公演は3事業3公演を実施するなど、徐々にコロナ禍前の事業展開に戻すことができた。

(2) 体験教育・普及活動

- 県内の公立中学1年生全員を対象とした芸術体験事業「わくわくオーケストラ教室」(40公演予定)を実施。コロナ禍の影響で全校参加とはならず、35公演・201校・約2万3千人の参加となった。このため、令和2年度及び3年度不参加となった但馬地域については、令和4年度に限り、但馬公演を行う。
- 県立劇場・楽団のミッションとして、佐渡芸術監督による音楽授業や楽団員によるアウトリーチ活動等を積極的に展開。平成29年度からは、小学校・特別支援学校等へのアウトリーチを継続実施しているが、新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年度に中止した小学校・特別支援学校等13校13回のアウトリーチを実施することができた。
- 令和3年度から県内中・高校部活動等の演奏の指導を行う「青少年リモートレッスン人材育成事業」を開始しており、遠方の学校の生徒にもリモートを活用して、楽団員が10校14回にわたり生徒を指導することができた。

(3) 多彩な演奏活動

- 県内ホールと連携して行っている「シーズン・オープニング・フェスティバル」(養父市)は、合宿のみ実施し、公演は無観客で上演し、動画配信を実施した。一方、芸術監督指揮による県内巡回公演は、予定通り実施することができた。
- 例年出演している「1万人の第九」をはじめ、日本オーケストラ連盟との共催で実施した「オーケストラ・キャラバン」(廿日市公演)など県内外の公演も積極的に展開し、楽団の魅力を発信することができた。

(4) コアメンバー演奏力の強化(アカデミー機能の充実)

- 新型コロナウイルスの影響で海外からスペシャル・ゲスト・プレイヤーの招聘は難しい状況であったが、国内のゲスト・プレイヤーを中心に、コアメンバーを個別に指導をするマスタークラスを再開することができた。

＜ホール別の主催事業数・公演数＞

区 分	芸術文化センター事業		芸術文化センター管弦楽団事業		主催事業 計
	主催事業	舞台芸術団体 フェスティバル 等	演奏活動	青少年芸術体験事業	
KOBELCO 大ホール	38 事業 53 公演	4 事業 4 公演	11 事業 25 公演	1 事業 35 公演	54 事業 117 公演
阪急 中ホール	36 事業 87 公演	7 事業 13 公演	—	—	43 事業 100 公演
神戸女学院 小ホール	17 事業 18 公演	3 事業 3 公演	3 事業 3 公演	—	23 事業 24 公演
小計	91 事業 158 公演	14 事業 20 公演	14 事業 28 公演	1 事業 35 公演	120 事業 241 公演
外部公演	3 事業 3 公演	—	4 事業 4 公演	—	7 事業 7 公演
楽団外部依頼公演	—	—	9 事業 15 公演	—	9 事業 15 公演
計	94 事業 161 公演	14 事業 20 公演	27 事業 47 公演	1 事業 35 公演	136 事業 263 公演
【基準】	【36 事業 58 公演】		【48 公演】	【40 公演】	【146 公演】

〔注１〕 上記のほか普及事業開催：広報普及イベント（公開リハーサル、レクチャー・トーク、ワークショップ、
バックステージツアー、企画展示、西北活性化協議会イベント等）、楽団アウトリーチ活動等

3 芸術文化センター広報・普及活動

(1) 広報活動

① 多面的な広報宣伝活動

芸文センターの認知度向上、新たなファンの発掘・裾野拡大、公演入場券の販売促進を積極的に展開した。

(ア) 記者会見等の実施

テレビや新聞、雑誌、Web ニュースなどのメディアの取材を誘致するために、記者会見、取材会、プレスリリースなどを実施した。

- ・ 5月25日(火) 記者会見(KOBELCO 大ホール) プロデュースオペラ 2021「メリー・ウィドウ」
- ・ 7月13日(火) 取材会(茂山家稽古場) 「Cutting Edge KYOGEN 真夏の狂言大作戦 2021」
- ・ 9月20日(月) 取材会(ハートンホテル北梅田) 「Le Fils 息子」岡本圭人
- ・ 10月28日(木) プレスリリース 「ジルヴェスター・ガラ・コンサート」
- ・ 11月5日(金) 取材会(KOBELCO 大ホール) 「ジルヴェスター・ガラ・コンサート」鈴木優人
- ・ 12月1日(水) 取材会(フェスティバルスイート) 「ザ・ドクター」大竹しのぶ
- ・ 12月8日(水) 取材会(KOBELCO 大ホール) 「高野百合絵&黒田祐貴 デュオ・リサイタル」高野・黒田
- ・ 12月22日(水) プレスリリース 「高野百合絵&黒田祐貴 デュオ・リサイタル」
- ・ 2月1日(火) プレスリリース プロデュースオペラ 2022「ラ・ボエーム」
- ・ 2月25日(金) 記者会見(KOBELCO 大ホール) プロデュースオペラ 2022「ラ・ボエーム」
- ・ 3月18日(金) プレスリリース 「2022 ラインナップ」

(イ) 公演広告の実施

(a) 紙面広告等

発売日前等に新聞や雑誌などに紙面広告を掲出。

(実績)新聞16回、雑誌5回、タブロイド紙22回、冊子5回、TVCM3回、電子版1回、SNS 広告1回

(b) 交通広告(車内・駅にポスター・映像(デジタルサイネージ)を掲出)

楽団定期演奏会(通し券)やプロデュースオペラを広く周知するため、地元を中心に交通広告を実施。

- ・ 3月27日～4月2日 阪急宝塚線・神戸線各駅 ポスター掲出
- ・ 3月29日～4月4日 阪急電車内 ドア横面ポスター掲出
- ・ 6月14日～20日 阪急梅田駅 ポスター掲出
- ・ 6月17日～23日 阪急電車内 中吊りポスター掲出
- ・ 6月21日～27日 阪急宝塚駅・西宮北口駅 ポスター掲出
- ・ 6月21日～27日 阪急梅田駅・西宮北口駅 デジタルサイネージ掲出
- ・ 7月2日～8日 阪急宝塚駅 ポスター掲出
- ・ 7月2日～8日 阪急西宮ガーデンズ館・阪急神戸三宮東改札口前 デジタルサイネージ掲出
- ・ 3月7日～9日 阪急電車内 中吊りポスター掲出
- ・ 3月7日～13日 JR 西宮駅・阪神西宮駅・阪急大阪梅田クラック WALL ポスター掲出
- ・ 3月7日～13日 阪急西宮ガーデンズ館・阪急神戸三宮東改札口前 デジタルサイネージ掲出

(ウ) 共催先等によるプロモーションの活用

共催先や制作元、貸館公演等が実施するプロモーションにより新しい顧客層を開拓。

(参考) 芸文センター関連のメディア露出

【確認数】945 件 (TV34 件、ラジオ 13 件、Web578 件、新聞 261 件、タブロイド紙 32 件、雑誌 23 件、冊子 4 件)

関連記事	主な掲載メディア
プロデュースオペラ 2021「メリー・ウィドウ」	NHK 神戸放送局、毎日放送、BS テレ東、ABC ラジオ、KISS FM KOBE、読売新聞、朝日新聞、毎日新聞、産経新聞、日本経済新聞、神戸新聞、大阪日日新聞、河北新報、西日本新聞、中国新聞、熊本日日新聞、音楽の友、ぶらあぼ、Webニュース 等 73 件
プロデュースオペラ 2022「ラ・ボエーム」	毎日放送、日本経済新聞、神戸新聞、大阪日日新聞、朝日ファミリー、ぶらあぼ、モーストリー・クラシック、Webニュース 10 件
兵庫芸術文化センター管弦楽団	NHK FM、読売新聞、神戸新聞、音楽現代、朝日ファミリー、Webニュース 等 32 件 NHK FM「ブラボー！オーケストラ」佐渡芸術監督指揮 PAC 第 126 回定期演奏会 10/17 19:20～20:20 ブルックナーの交響曲第 7 番(前半) 10/24 19:20～20:20 ブルックナーの交響曲第 7 番(後半)
スーパーキッズ・オーケストラ	毎日放送、岩手朝日 TV、岩手放送、毎日新聞、日本経済新聞、岩手日報、四国新聞、釜石新聞、ぶらあぼ、Webニュース 等 33 件
「1 万人の第九」	TBS、毎日新聞、神戸新聞、京都新聞、大阪日日新聞、北海道新聞、岩手日報、北国新聞、河北新報、福島民報、信濃毎日新聞、福井新聞、中国新聞、愛媛新聞、琉球新報、Web ニュース 等 40 件
「Le Fils 息子」公演	読売新聞、朝日新聞、神戸新聞、産経新聞、Web ニュース 等 28 件
「ザ・ドクター」公演	読売 TV、MBS ラジオ、FM COCOLO、朝日新聞、産経新聞、毎日新聞、スポーツ各紙、Web ニュース 26 件
「マーキュリー・ファー」公演	朝日新聞、日本経済新聞、Web ニュース 22 件
「近松心中物語」公演	朝日新聞、毎日新聞、京都新聞、Web ニュース 23 件
「彼女を笑う人がいても」公演	朝日新聞、日本経済新聞、Web ニュース 21 件
「ラビット・ホール」公演	読売新聞、Web ニュース 20 件
「ナイフ」公演	毎日新聞、産経新聞、神戸新聞、朝日ファミリー、Web ニュース 20 件
「柳家小三治・柳家三三 親子会」公演	読売新聞、共同通信、神戸新聞、京都新聞、北国新聞、岩手日報、東奥日報、山梨日日新聞、福井新聞、山陽新聞、福井新聞、長崎新聞、スポーツ各紙、Web ニュース 18 件
佐渡芸術監督インタビュー記事 [漂うリアル]／「共振」に音楽の力実感／新たな場の創出に期待	神戸新聞、京都新聞、東奥日報、山梨日日新聞、福井新聞、山陽新聞、中国新聞、徳島新聞、愛媛新聞、南日本新聞、琉球新報、沖縄タイムス 12 件
佐渡芸術監督と養育立美術館長との対談	毎日新聞、産経新聞、朝日ファミリー、神戸新聞、京都新聞、河北新報、中国新聞、宮崎日日新聞、琉球新聞、Web ニュース 等 16 件

② 自主媒体による展開

(ア) 情報誌「ひょうご舞台芸術」の発行 【年 2 回／各 6 万部】

実施した主催公演を特集した情報誌を半年ごとに発行。先行予約会員ほか、各公共施設等に配布し、芸文センターの舞台芸術を紹介。

(イ) 会報誌の発行 【発売日に合わせ月 1 回(8 月除く)／4 月：約 4 万部～3 月：約 6 万部】

新型コロナウイルスの影響による渡航規制等により公演開催が見通せない状況のため、先行予約発売のための「先行予約会員 NEWS」を休止、代わりに「月間発売一覧」を発行。チケット販売促進のために公演チラシとともに先行予約会員に送付。

(ウ) 「公演スケジュール」の発行 【月 1 回／6,000 部】

主催・貸館公演の月間スケジュール「公演スケジュール」を毎月発行し、記者や県内施設等に配布して、芸文センターの公演情報を広く周知。

(エ) 芸文センター Web サイトの運営 (<http://www.gcenter-hyogo.jp>)

施設概要・公演情報・入場券発売・楽団情報・ニュース&トピックス等掲載。

※ニュース&トピックス発信数 R3 年度 181 件

◆芸文センター公式ホームページ (Google アナリティクス解析)

※R3 年度：アクセス数(セッション)767,086、閲覧数(ページビュー)1,309,498、ユーザー数 328,892

◆オンラインチケットサイト (Google アナリティクス解析)

※R3 年度：アクセス数(セッション)471,968、閲覧数(ページビュー)4,824,380、ユーザー数 187,122

(オ) 特設 Web サイトの開設

(a) プロデュースオペラ特設サイト

作品・キャスト等の紹介、最新のニュース等を掲載。

◆「メリー・ウィドウ」(R3.2 開設) <http://www.gcenter-hyogo.jp/merrywidow/>

◆「ラ・ボエーム」(R3.12 開設) <http://gcenter-hyogo.jp/boheme/>

(b) 楽団特設サイト (H19.2 開設) <https://hpac-orc.jp/>

楽団・メンバーの募集・紹介、活動等紹介、最新のニュース等を掲載。

(カ) メールマガジンによる情報発信【R3 年度 29 回発行 (229 号～257 号)】

発売情報、新型コロナウイルスに係る公演中止等の伝達に有効な手段として、月 1・2 回のペースで配信。

※登録者数 32,509 人(先行予約会員 20,358 人、メルマガ単独 12,151 人、重複除く、R4.3.10 時点)

(キ) SNS の活用

(a) Twitter

◆芸文センターアカウント (H28.12 開設)

芸文センターの告知情報や公演情報などをタイムリーに配信。

※フォロワー 4,742 人、延べ 1,806 ツイート数

◆楽団公式 Twitter アカウント (R2.5 開設)

楽団情報をタイムリーに配信。

※フォロワー 2,607 人、延べ 346 ツイート

◆プロデュースオペラ公式アカウント (H29.1 開設)

プロデュースオペラ情報をタイムリーに配信。

※フォロワー 1,596 人、延べ 845 ツイート

(b) Facebook

◆楽団公式アカウント (R2.5 開設)

楽団情報をタイムリーに配信。

※フォロワー数 699 人

(c) Instagram

◆楽団公式アカウント (R2.5 開設)

楽団演奏会等の情報をタイムリーに動画配信。

※フォロワー数 904 人、延べ 161 件投稿

◆プロデュースオペラ公式アカウント (R1.12 開設)

オペラの記者会見や稽古風景、出演者インタビューなどを動画配信。

※フォロワー数 659 人、延べ 96 件投稿

(ク) 動画の配信

(a) YouTube

◆芸文センター公式アカウント (H27.2 開設)

プロデュースオペラや公演情報等を動画配信。

※チャンネル登録 548 人、延べ 39 本配信、延べ 240,599 回再生

【主な配信動画】(配信中)

・R4.10.8 公開 プロデュースオペラ 2021「メリー・ウィドウ」抜粋版

再生回数 4,114 回

- ・ R3. 2. 27 公開 プロデュースオペラ 2021「メリー・ウィドウ」PR動画 再生回数 5.1 万回
- ・ R3. 2. 21 公開 ジルヴェスター・コンサート 2020「魅惑のオペレッタ・ガラ!」抜粋版 再生回数 13.2 万回

◆楽団公式アカウント（H25. 9 開設）

佐渡芸術監督の企画等による楽団演奏を動画配信。

※チャンネル登録 3,940 人、延べ 97 本配信、延べ 791,343 回再生

【主な配信動画】（配信中）

- ・ R2. 12. 8 公開開始 わくわく Online オーケストラ教室「妖精パックのオーケストラってなあ〜に？」
動画 5 本、延べ再生回数 1.4 万回（最高 8,318 回、平均 2,756 回）
- ・ R2. 6. 19 公開 オーケストラ公演の再開に向けて〜ディスカッションとデモ演奏〜
ライブ配信、再生回数 1.7 万回
- ・ R2. 6. 14 公開開始 Meet-HPAC リサイタルホールから（PAC メンバーの演奏）
動画 25 本、延べ再生回数 8.8 万回（最高 7,104 回、平均 3,516 回）
- ・ R2. 4. 20 公開開始 すみれの花咲く頃プロジェクト（R2. 4. 21〜R2. 6. 15 投稿 400 組）
動画 39 本、延べ再生回数 24.3 万回（最高 80,130 回、平均 6,229 回）

（ケ）DVD の配布

配信している動画をより一層活用してもらえるように DVD を作成し、県内小・中学校に配布した。

- ・ わくわく Online オーケストラ教室 「妖精パックのオーケストラってなあ〜に？」
令和 3 年度：「幻想交響曲」（ベルリオーズ）

③ 芸術文化センター先行予約会員制度（無料会員）

【特典】 チケット先行予約発売（価格割引なし）、インターネット購入
会報誌・公演チラシの送付

【会員数】 60,549 人（県内 34,300 人、県外 26,249 人 [令和 4 年 3 月 31 日現在]）

④ チケット販売体制

（ア）チケットオフィスの運営

プレイガイドが電話受付を縮小する中、インターネットに対応できない人に対応するため、発売日にスタッフ 40 名、電話 35 台という他の劇場では類を見ない充実した電話受付体制を取るとともに、柔軟な増員対応で電話受付や窓口の混雑緩和を図り、顧客満足度向上を図った。

電話受付の通話録音及び自動応答により、聞き間違い防止等サービス品質向上を図るとともに、混雑時でもつながりやすいように問い合わせ専用窓口を設置した。

（イ）新型コロナウイルス感染症拡大予防対策

チケットオフィスの 3 蜜を回避するため、3 階会議室に電話回線を増設して、電話受付を分散実施。また、窓口案内／チケットカウンター、当日券ブースには、お客様との間に飛沫感染防止のためのパーテーションを設置した。

来場者把握のため、先行予約会員に限定して販売、一部公演を除き購入者本人と同伴者の 2 名に制限した。

政府や県の新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針によるイベント開催制限の規制・緩和の繰り返しや渡航規制等による急な公演中止や販売制限等に対応した。

(2) 主催事業と連動した普及事業等

主催事業の制作過程や事業内容を観客にわかりやすく理解を深め楽しめるものとするため、楽団の公開リハーサルや芸術監督プロデュースオペラのワークショップなどを実施

(ア) 公開リハーサル

- (a) 佐渡芸術監督プロデュースオペラ

喜歌劇「メリー・ウィドウ」公開リハーサル (KOBELCO 大ホール)

【日 程】令和3年7月13日(火)、14日(水)

- (b) 楽団「定期演奏会」公開リハーサル (KOBELCO 大ホール)

定期会員を対象に「定期演奏会」の公開リハーサルを実施 [各1回、計6回]

(イ) ワークショップ

- (a) オペラ創造ワークショップ「メリー・ウィドウ」の制作アトリエ

(KOBELCO 大ホール)

【日 程】令和3年7月15日(木)

【登壇者】佐渡裕(指揮・芸術監督)ほか

- (b) 世界音楽図鑑 黄昏のスウィング!

関連企画はじめてのスウィングダンスワークショップ(阪急中ホールホワイエ)

【日程】令和3年9月23日(木・祝)

公演チケットご購入の方15名を対象に出演ダンサーによるダンスワークショップ

- (c) 近藤芳正 solo work「ナイフ」関連企画

近藤芳正さんによる演技塾(ワークショップ) (リハーサル室1)

公演チケットご購入の方20名を対象に近藤芳正氏が俳優として長年の経験と知識から演技を志す方々の悩みにお応えするワークショップ

(ウ) バックステージツアー

一般の方を対象に、普段、目にすることのできない劇場の舞台裏や舞台機構、公演準備作業の様子などを案内する見学会を開催

内 容		開催日	入場者 (人)
兵庫県立芸術文化センターのなるほどバックステージツアー2021			
第1回	なるほど「KOBELCO 大ホール」編	3. 5. 19 (2回)	96
第2回	夏休みの「わくわく探検隊ツアー」	3. 8. 13 (2回)	117
第3回	なるほど「PAC オーケストラ」編	3. 9. 29 ～9. 30 (2回)	55
第4回	なるほど「阪急中ホール」編	3. 10. 21 (2回)	77
第5回	なるほど「建物と仕事人」編	3. 12. 8 (2回)	59
第6回	なるほど「神戸女学院小ホール」編	4. 1. 18 (1回)	53
合 計 6事業 11回			457

(エ) 企画展示（共通ロビー情報コーナー「ポッケ」）

(a) バレエ・コレクション企画展示（年2回）

故薄井憲二氏（舞踊家、日本バレエ協会元会長）の貴重なバレエ・コレクションを活用し、その全貌を紹介することでバレエの歴史を概観する。

(b) 主催事業関連企画展示

自主企画公演等と連動した展示を行い事業の効果的なPRを図る。

【時 期】令和3年7月（プロデュースオペラ 喜歌劇「メリー・ウィドウ」）ほか

内容		開催日
バレエ・コレクション企画展示	『牝鹿』と『牝猫』	3. 7. 27 ～ 8. 29
	バレエで描かれたインド～想像と創造～	4. 1. 13 ～ 3. 6
主催事業関連企画展示	「古楽の愉しみ」「ワンコイン・コンサート」「プロムナード・コンサート」等 公演企画紹介	3. 5. 12 ～ 6. 13
	佐渡裕芸術監督プロデュースオペラ 喜歌劇「メリー・ウィドウ」	3. 6. 15 ～ 7. 25
	楽団 2021 年新シーズンラインナップ 新メンバー紹介	3. 8. 31 ～ 10. 10
	阪急中ホールおすすめ公演紹介（演劇・落語・民俗芸能祭等）	3. 10. 12 ～ 11. 21
	クリスマス・ジャズフェス ジルヴェスター、顔見世	3. 11. 23 ～ 4. 1. 10
	2022 年度 芸術文化センター 公演ラインナップ	3. 3. 8 ～ 4. 3

(オ) 薄井憲二バレエ・コレクション

故薄井憲二氏が世界各地から収集した世界有数の規模を誇るバレエ関連資料（書簡、プログラム、絵画・ポスター、書籍等約 6,500 点）、同バレエ・コレクションの概要、展示情報などをインターネットで配信するとともに、美術館等での展示やバレエ公演のパンフレットのために貸し出した。

内容	貸出先	貸出期間（開催日）
平野恵美子著『帝室劇場とバレエ・リュス』の文化庁芸術選奨記念の展示	豊橋市図書館	3. 5. 1 1
熊川哲也 K バレエ カンパニー「ドン・キホーテ」公演プログラム	株式会社 TBS テレビ	3. 5. 1 5
NHK E テレ番組「CLASSIC TV」	日本放送協会	3. 6. 8
イスラエル・ガルバン「春の祭典」公演プログラム	勝美博光	3. 6. 8
Arts and Media vol.11	大阪大学大学院文学研究科 古後奈緒子	3. 6. 1 6
国際学術・実践大会「第 6 回国際ワガノワ講座」	斎藤 慶子	3. 6. 2 5
「BALLET The New Classic」の公演プログラム	曾我ゆう	3. 7. 9

本アレンスキー協会 NEWS LETTER NO. 2 1	日本アレンスキー協会	3. 7. 1 5
彩の国さいたま芸術劇場オープンシアター『ダンスのある星に生まれて』公演館内展示	公益財団法人埼玉県芸術文化振興財団	3. 8. 3 0～ 3. 1 0. 1 8
TRIAD DANCE PROJECT「ダンスの系譜学」公演プログラム	勝美 博光	3. 9. 2 0
富永明子著「トウシューズのすべて」	合同会社サーズデイ	3. 1 0. 1 5
国立サンクトペテルブルグ舞台芸術図書館国際学会「過去を大事にしながら未来を創り出そう」	斎藤 慶子	3. 1 0. 2 0
日本バレエ協会の葉書セット「パ・ド・カトルの舞姫達」作成	公益社団法人 日本バレエ協会	3. 1 1. 6
日本ヴィクトリア朝文化研究学会	神戸大学 関典子	3. 1 1. 1 9
8K スペシャルドラマ「雪国」	(株) NHK エンタープライズ	3. 1 1. 1 9
日本アレンスキー協会 NEWS LETTER NO. 2 2	日本アレンスキー協会	4. 1. 4
関典子ダンス公演『牧神とニンフの午後』	東りいたみホール (伊丹市立文化会館)	4. 2. 1 2
ONTOMO MOOK『バレエ音楽がわかる本』	(株) 音楽之友社	4. 2. 2 2
Petit GRACE 第2回発表会プログラム	若林絵美	4. 2. 2 2
「バレエ・リュスの世界」公演チラシ	一般社団法人貞松・浜田バレエ団	4. 3. 1 9

4 東日本大震災復興祈念等の継続的な取組

- ・スーパーキッズ・オーケストラの継続的な東日本大震災被災地訪問演奏活動
- ・東日本大震災復興祈念等事業資金

大口の寄附金収入等を「東日本大震災復興祈念等事業資金」として管理し、被災地への支援活動を行い有効活用。

 - ① 財源：寄附金、表彰副賞、委員謝金 等

＊第2回貝原俊民美しい兵庫づくり賞副賞（地域政策研究会 500 千円）、神戸新聞平和賞副賞（神戸新聞 300 千円）、福島原発事故賠償金（東京電力 7,386 千円）、大口の寄附金（H25:2,000 千円、H26:4,000 千円、H28:3,182 千円、H29:55,500 千円）等

＊委員謝金：43 件 1,407 千円、講師謝金：69 件 12,320 千円（H23～R3）
 - ② 充当事業
 - （ア）スーパーキッズ・オーケストラによる被災地訪問演奏
 - （イ）PACメンバーによる被災地アウトリーチ活動
 - （ウ）プロデュースオペラ、楽団定期演奏会等への被災者招待 等
- ・スーパーキッズ・オーケストラ事業推進資産

サントリーホールディングス㈱がスーパーキッズ・オーケストラの設立趣旨や東日本大震災復興祈念活動に賛同して寄附（平成 26 年度）いただいた 150,000 千円を原資に東北への訪問、合宿等の事業活動（平成 27 年度から 10 年間）を展開（サントリー「東北サンさんプロジェクト」）

【芸術文化センター広報・普及活動 評価】

(1) 広報活動

- 近年、テレビ、ラジオ、新聞、雑誌等の取材記事は、「Yahoo!ニュース」をはじめ、様々なWebニュースサイトで拡散され、効果的、効率的に広報ができるため、記者会見等による取材誘致を実施した。
- これまで以上に芸文センターや出演者を身近に感じてもらうため、非日常的な練習風景や公演終了後の出演者等の写真や動画をタイムリーにSNSで発信した。
- 芸文センター公式 Twitter は、インプレッション(表示回数)の平均は、フォロワー数の 2 倍と言われるなか、7,525 件(R4 年 3 月)で約 1.6 倍、エンゲージメント率(ユーザーが反応した率)の平均は 4%と言われるなか、2.6%であった。引き続き、フォロワーの獲得とともにインプレッション数、エンゲージメント率の増加に向けた取り組みを進めたい。

(2) 会員制度

- 無料の先行予約会員制度により、会員約 60,000 人を達成し、リピーターの確保を図るとともに、毎月の会報誌送付等を行った。新型コロナウイルスにより販売制限の影響を受ける中、券売数約 16 万枚、券売率 82.6%まで回復した。

(3) チケット販売

- NET販売の普及・定着(NET比率が全体で6割以上、発売初日受付開始 30 分間で8割以上)により、チケットオフィスの電話受付の集中が緩和された。
- 通話録音及び自動応答により、聞き間違い防止や予約混雑時でも繋がる問い合わせ専用窓口を設置することで、電話受付サービスの品質向上を図った。
- 新型インフルエンザ等対策措置法による緊急事態宣言、あるいはまん延防止等重点措置にともない、イベントの開催制限が、無観客開催→収容率要件 50%→100%と変遷するが、チケット販売動向の回復は極めて鈍いものとなった。
- 海外から指揮者やソリストが招聘できない公演もあり、出演者の変更などを余儀なくされたが、国内アーティストに変更することで中止することなく開催した。
しかしながら、度重なる出演者変更が顧客のチケット購買意欲に少なからず影響していると考えられる。

(4) 主催事業と連動した普及事業等

- パブリックシアターとして、県民が舞台芸術に触れる多様な機会を提供するため、公開リハーサル、ワークショップ、バックステージツアーなどを実施、参加者からも大変好評を得ており、センターのソフト・ハードさらには舞台芸術への関心を深め、センターのファン層を拡げた。
ワークショップでは、公演に先駆けて公演の制作秘話や舞台の秘密を学ぶなど、より公演に親しんでもらえるよう内容を充実した。

(5) 企画展示

- 情報コーナー「ポッケ」(共通ロビーに設置)では、公演と連動した様々な展示を常時実施し、興味を喚起し、知識を深める場を提供した。

(6) 被災地復興祈念の取組

- 阪神・淡路大震災からの復興のシンボルとして誕生した県立劇場として、兵庫芸術文化センター管弦楽団(PAC)による募金活動などとともに、大口の寄付金等を有効に活用しながら、佐渡裕芸術監督のもとスーパーキッズ・オーケストラによる東北への復興祈念演奏活動の実施など、継続して災害被災地を応援した。

5 施設の管理運営事業（発表・交流の場の提供）

施設運営の基本コンセプト

- ① 発信する劇場としてセンター・楽団自主企画事業を中心に運営
- ② 専門性の高い劇場（機能・設備・スタッフ）の特性が生かされる舞台芸術公演の利用促進
- ③ 県民の多様な創造活動の発表の場、劇場空間への親しみ・交流機会を通じて芸術文化の裾野拡大
- ④ フレキシブルで使い勝手の良い運営、開放性と賑わいで街づくりの一翼を形成

① 施設の管理運営

* 施設利用（貸館）受付の状況

（i）本格的舞台芸術公演の優先利用受付（18 か月前受付）

毎月 1 日から 18 か月後の月分を受付

（ii）一般（貸館）利用受付

a ホール（12 か月前受付）

毎月 1 日に翌年度の当該月分を受付。受付開始後は 4 か月前の末日までに随時受付

【ホール利用実績】 令和 3 年 4 月～令和 4 年 3 月（令和 4 年 3 月現在）

ホール	開館日数		利用日数		利用日数内訳	
					主催事業	貸館事業
	基準	実績	基準	実績	実績	実績
KOBELCO 大ホール	290	327	203 (70%)	309 (152.2%) [94.5%]	255 [82.5%]	54 [17.5%]
阪急 中ホール		301		273 (134.5%) [90.7%]	213 [78.0%]	60 [22.0%]
神戸女学院 小ホール		308		271 (133.5%) [88.0%]	77 [28.4%]	194 [71.6%]

※ 基準：県収支枠組における施設維持管理費、スタッフ配置、施設使用料収入の算定基礎としたもの

※ 利用日数の（ ）内：利用日数（基準）と比較した利用率、[]内：開館日数（実績）と比較した利用率

※ 利用日数内訳の[]内：利用日数（実績）における比率

b スタジオ、リハーサル室（3 か月前受付）

毎月 1 日に 3 か月後の月分を受付。受付開始後は、前日まで随時受付。

【リハーサル室・スタジオ利用】

施設名			開館日数	利用日数
リハーサル室	1	331㎡ (ピアノ有り)	315	284 [90.2%]
	2	88㎡ (ピアノ有り)	298	293 [98.3%]
スタジオ	1	22㎡	279	184 [65.9%]
	2	22㎡	282	227 [80.5%]
	3	22㎡ (ピアノ有り)	280	227 [81.1%]

スタジオ	4	11㎡ (ピアノ有り)	281	278 [98.9%]
	5	82㎡ (ピアノ有り)	286	282 [98.6%]

※施設（ホール、リハーサル室・スタジオ）利用登録件数（累計）4, 105

＜ホール別の貸館事業数・公演数＞（令和3年4月～4年3月）

区分	KOBELCO 大ホール	阪急 中ホール	神戸女学院小ホール	計
貸館事業	44 事業 49 公演	42 事業 46 公演	186 事業 193 公演	272 事業 288 公演

（※芸術文化センター各ホール公演総数（主催＋貸館 529 公演）

【付属駐車場利用】（令和3年4月～4年3月）

施設名	開館日数	利用台数（台）
付属駐車場	289	延べ利用台数 19, 255

【利用料収入】

（単位：円、税込）

施設名		金 額	
		R3	R2(参考)
区分	大ホール	45,277,400	8,879,660
	中ホール	19,324,080	4,721,350
	小ホール	20,876,360	7,428,210
	リハーサル室	4,346,350	1,978,475
	スタジオ	3,622,700	2,843,050
ホール等計		93,446,890	25,850,745
附属設備		35,271,100	16,486,450
附属駐車場		11,243,850	5,256,000
合 計		139,961,840	47,593,195

（ア）人材育成

（a）舞台技術関係者等の育成

舞台技術の現場に携わるスタッフや舞台技術専攻学生等を対象に、センターの舞台設備を活用して、劇場のあり方・技術向上の観点から舞台技術を継承・発展、創造活動支援を促進（舞台技術セミナー：令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により開催中止）

（b）アートマネジメント講座の開催

文化施設職員等を対象に、アートマネジメントに必要な専門的知識・技術を習得させることを目的として開催。

内 容		開催日	参加者（人）
第1回	1 「コロナを契機とした実演芸術における公演映像活用の可能性」 講師：文化政策・芸術運営アドバイザー/芸術コーディネーター 米屋尚子	4. 1. 13	24
	2 「芸術文化観光専門職大学の概要」 講師：芸術文化観光専門職大学 副学長兼芸術文化・観光学部長 藤野一夫		

第2回	「文化政策の動向と文化庁予算について」 講師：文化庁企画調整課課長補佐 三浦牧人	4. 3. 8	28
合 計 2事業 2回			52

(c) アートマネジメント関係の人材育成 ほか

事業名	期間	参加者	参加者(人)	備考
大学でのアートマネジメント講座	通年	武庫川女子大学	15	講師派遣 (1人)
大学での文化施設運営講座	通年	大阪芸術大学	67	講師派遣 (1人)
全国公立文化施設協会研究大会	3. 6. 10～11	全国公立文化施設協会	193	講師派遣 (1人)
芸文センターでのアートマネジメント講座	3. 9. 8	大阪音楽大学	29	運営業務
イベント学会	3. 11. 6	イベント学会	114	講師派遣 (2人)
東京文化財研究所フォーラム	3. 12. 3	東京文化財研究所	51	講師派遣 (1人)
劇場職員セミナー	4. 1. 20	愛知県芸術劇場、 名古屋市文化振興事業団	633	講師派遣 (2人)

(d) 体験学習等

兵庫県教育委員会が実施する、中学2年生を対象とした「トライやる・ウィーク」事業の参加者を受け入れてきたが、令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により1校のみの実施となった。

(イ) 地域連携・にぎわいづくり事業

(a) 西北活性化協議会

芸術文化センターの開館を機に、センターを核とした地域全体の振興発展と活性化を目的に平成18年4月1日に設立（構成：にしきた商店街、芸術文化センター、阪急西宮ガーデンズ）。センターと地元が一体となって様々なイベントを実施し、地域のにぎわいを創出。

[令和3年度] (2021年度) イベント等

内 容		開催日	参加者 (人)
プロデュースオペラ 喜歌劇「メリー・ウィドウ」前夜祭	前夜祭（阪急中ホール） 佐渡裕芸術監督指揮による近隣中学校吹奏楽部による合奏ほか	3. 7. 15	330
LALALA にしきたミュージシャン・コンテスト2021（第14回）	“にしきたを音楽の街に”をテーマに、街のアーティストの活動支援を行う。 ジャズ・クラシック・軽音楽・コーラス等（阪急中ホール）	3. 11. 2 (決戦)	268

(b) 地元企業との連携

県内外からのお客様へのホスピタリティの向上の一環として、常日頃から関係の深い地元企業職員をホールに招き相互研修会を開催（阪急タクシー、阪急西宮北口駅）

※令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により開催中止

② 公立ホール等との連携

(ア) 公立文化施設協議会等

兵庫県公立文化施設協議会（加盟 36 ホール）会長（事務局）、全国公立文化施設協議会近畿地区支部長、多面・大規模舞台劇場協議会、劇場、音楽堂等連絡協議会メンバーとして県内外ホール間の連携を深めた。

＊兵庫県公立文化施設協議会（第1回幹事会・定例総会 9月16日、第2回幹事会 12月21日、研修会 令和4年2月18日）

(イ) 公共劇場舞台技術者連絡会

公共劇場舞台技術者連絡会（公立の劇場やホールで舞台芸術を支える劇場技術者が連携して平成21年設立：加盟 21 ホール）の副会長として、舞台技術員が参画し、各劇場間の諸問題の調査研究、情報交換等を通して、公演の円滑な進行管理と安全確保、技術的専門性の確立を目指した。

(ウ) 主な全国の公立ホール整備への支援

センター職員の委員就任や視察受入、講演等を通じてアドバイス。

- [参考] ・仙台市（宮城県）：「兵庫・芸術文化センター」をモデルに復興のシンボルとして「新音楽ホール」整備。平成27年度予算に「調査費」2,000万円を計上。経済界では「音楽ホール建設基金」が始動。音楽関係者が「楽都・仙台に復興祈念『2,000席規模の音楽ホール』を！市民会議」を設立。
- ・堺市（大阪府）：旧市民会館にかわる「フェニーチェ堺」（堺市民芸術文化ホール）を新設。平成28年度建設工事着手。令和2年10月オープン。
 - ・枚方市（大阪府）：老朽化した市民会館に替わる「総合文化施設」（枚方市総合文化芸術センター）を整備。平成27年2月に公募型プロポーザル方式により設計事業者選定。平成27年度設計業務着手。平成29年度着工、令和3年8月オープン。
 - ・高槻市（大阪府）：老朽化した市民会館の建替。平成27年度基本計画策定。平成28年度設計業務。令和元年度建設工事着手、令和4年度開館予定。
 - ・姫路市：姫路市文化事業の推進のため、姫路駅東側のキャストィ21イベントゾーン内に「知と文化・産業の交流拠点」をコンセプトに文化コンベンション施設を整備。「姫路市文化コンベンションセンター アクリエ姫路」として令和3年9月オープン。
 - ・札幌市：札幌市の文化事業振興のため、平成30年に完成した札幌文化芸術劇場に導入する舞台機構のシステム構築に係る助言を求められ、舞台機構アドバイザーとして当センターの舞台技術の専門職員を意見交換会に派遣（平成29年度）。
 - ・養父市：職員が専門委員に就任。令和3年9月14日オープン。

＊その他、全国から視察を受入

③ 各ホールネーミングライツ・スポンサー

【愛称の使用期間】

令和2年4月1日から令和5年3月31日まで（3年間） ＊5期目

【ネーミングライツスポンサー及び愛称】

正式名称	ネーミングライツスポンサー	愛 称	金 額
大ホール	株式会社神戸製鋼所	KOBELCO 大ホール	3,000 万円（税抜）
中ホール	阪急電鉄株式会社	阪急 中ホール	1,500 万円（税抜）
小ホール	学校法人神戸女学院	神戸女学院小ホール	500 万円（税抜）

（主な表示物）看板、ポスター、チラシ、会報誌、情報誌、広告、ホームページ、チケット

④ 賛助会員制度及び各種助成制度の活用等

（ア）賛助会員制度

自主企画事業の充実、センター及び楽団の活動を広く県民に理解してもらうための広報宣伝などセンターの多彩な活動を支援いただくため、文化に関心を寄せる県内主要企業、地元企業等を対象に賛助会員を募る。（令和4年3月現在 17社）

【実績】特別賛助会員 ゴールド会員 年額（3,000 千円）1社

シルバー会員 年額（1,000 千円）3社

一般賛助会員 13社 28口（1口50千円） 計740万円

（イ）各種助成制度

県補助金をベースに経営効率を高めるとともに、ファンの期待に応えるメニュー充実、舞台グレードアップ、公演数拡大、広報強化等の資金として、文化庁や民間財団等の公的助成の積極的な獲得に努めた。

＊（独法）日本芸術文化振興会 劇場・音楽堂等機能強化推進事業、舞台芸術創造活動活性化事業、文化庁 文化施設の感染拡大予防・活動支援環境整備事業、経済産業省 コンテンツグローバル需要創出促進事業費補助金（J-LOD）事業 ほか

【実績】（独法）日本芸術文化振興会（劇場・音楽堂等機能強化推進事業、舞台芸術創造活性化事業） 42事業

文化庁（文化施設の感染予防・活動支援環境整備事業） 1事業

（特非）映像産業振興機構（コンテンツグローバル需要創出促進事業） 1事業

（一財）地域創造 1事業

（公財）三菱UFJ信託芸術文化財団 1事業

（一財）みなと銀行文化振興財団 1事業

（公財）野村財団 1事業

（公財）花王芸術科学財団 1事業

（公財）アフィニス文化財団 1事業

計14,453万円

（ウ）民間支援の受入れ（主なもの）

（a）NPO法人イエロー・エンジェル（理事長：宗次徳二氏・名古屋市）による
コントラバスの無償貸与

コントラバス名：ヤナリス・ガリアーノ（1776年・イタリア製）ほか

（b）株式会社松尾楽器商会からピアノ「スタインウェイ」1台を無償貸与

(エ) 多額寄附金の活用

(a) 三村正之氏からの寄附

兵庫県立芸術文化センター管弦楽団をはじめとした、新進音楽家の活動支援及び次世代を担う子どもたちの音楽体験活動を支援。

金額 50,000 千円（「Aloha Mimura 基金（兵庫県立芸術文化センター音楽振興資産）」として管理・運営。H29 から 5 年を目途に音楽事業活動に充当。

(b) スーパーキッズ・オーケストラ事業推進資産（再掲）

サントリーホールディングス(株)がスーパーキッズ・オーケストラの設立趣旨や東日本大震災復興祈念活動に賛同して寄附（平成 26 年度）いただいた 150,000 千円を原資に東北への訪問、合宿等の事業活動（平成 27 年度から 10 年間）を展開（サントリー「東北サンさんプロジェクト」）

(c) ふるさとひょうご寄附金「県立芸術文化センター応援プロジェクト事業」

兵庫県の「ふるさとひょうご寄附金」に「県立芸術文化センター応援プロジェクト」のメニューを設けており、集まった寄附金を原資として、障がいのある方、高齢者、妊婦の方など誰もが快適に舞台芸術を楽しんでいただけるよう、手すりやベンチの設置などより利用しやすい施設づくりに活用。

⑤ 中長期的取り組み

(ア) 芸術文化センター運営委員会

センターの運営について、運営委員会を開催し、事業の中長期的企画、事業展開、施設運営全般に関して経営面など幅広い観点から検討・意見交換を行った。

【時 期】令和 3 年 7 月、令和 4 年 1 月（書面開催）

【委 員】学識者、舞台芸術の専門家、マスコミ・経済界のリーダー、センター関係者等

(イ) 県民意識調査の実施

政策研究大学院大学公共政策プログラム文化政策コース 垣内恵美子教授による「兵庫県立芸術文化センターにかかる県民意識調査」を実施し、今後の事業及び施設運営の展開に活用。

【施設の管理・運営事業（交流・発表の場の提供） 評価】

【新型コロナウイルス感染拡大の影響と対応】

- 新型コロナウイルス感染症に係る兵庫県対処方針に基づく芸術文化センターの休館・休業や収容人数及び公演時間に対する利用制限、イベントの自粛要請などによって、令和3年度は、貸館の 71 事業 80 公演が中止された。
- 貸館利用日ベース前年比、大ホールで257%増(R1:57日→R2:21日→R3:54日)、中ホールで240%増(R1:50日→R2:25日→R3:60日)、小ホールで163%増(R1:227日→R2:119日→R3:194日)となっており、リハーサル室(2室)やスタジオ(5室)もそれぞれ164.9%、129.8%増加した。
- 貸館利用者への支援策として、新型コロナウイルス感染症対策を理由とする公演中止については、キャンセル料の免除を実施し、令和3年度は総額16,546千円となった。
- 新型コロナウイルス感染防止のために、各ホール及びスタジオ、楽屋口、地下入口にサーモグラフィや自動体温測定装置、非接触体温計、アルコール消毒液を整備したほか、各ホールの楽屋に除菌効果のある空気清浄機や各室の換気効率を高めるため網戸を新設した。
- 各ホールのホワイエ及び客席、舞台、楽屋等のエアダクトやフィルター全体に抗菌改修工事を行いマイクロ飛沫の大規模拡散を防止するとともに、清掃の際に除菌を実施。
- 緊急事態宣言やまん延防止措置が実施される度に、施設利用料収入が大きく落ち込む一方、感染予防対策が新たに施設管理コストに加わることになり、管理・運営事業の収支悪化が課題となっている。

(1) 施設の運営・発表の場の提供

- 大規模修繕(H28)により安全・安心に施設設備を運営できており、省エネ化、バリアフリー化対応も増進できている。
- 年間イベント数 約610(令和3年度 主催等263・貸館288 普及イベント等61 計612)で、令和3年度公演入場者数 主催195,033人・貸館88,330人、普及イベント・ホール出演者・その他施設利用者等193,408人 計476,771人で新型コロナウイルス感染症拡大前の令和元年度との比較で、6～7割に回復している。
- 年間ホール実質稼働日数 令和3年度 330日 *大・中・小ホールのいずれかの稼働日数
施設利用率(利用日数/開館日数)は各ホールとも基準利用率 70%を大幅に上回る高い利用率を維持。県民の鑑賞・創造活動の場としてフルに機能し、安全・安心・快適な劇場として県民に親しまれている。(R3 施設稼働率:KOBELCO 大ホール 94.5%、阪急 中ホール 90.7%、神戸女学院小ホール 88.0%)
- また、施設に対する満足度では、主催事業(観客)、貸館(利用者)とも総じて高い評価を得ている。
- ネーミングライツ支援(年間5,000万円)を受け、安定的な運営を確保した。
*令和2年4月1日から令和5年3月31日まで(3年間) 5期目
- 上質で多様な演目を提供することにより、「芸文センターファン」の方々から様々な形で寄附をいただくとともに、賛助会員の募集、文化庁や民間財団等からの公的助成の獲得など、多様な財源の確保に努めた。

(2) 人材育成

- アートマネジメント講座をはじめ各種研修会開催(会場提供含む)、さらに職員の大学等講師派遣などを通じて、舞台芸術界を支える人材育成(基盤整備)にも取り組んでいる。

(3) 地域連携・にぎわいづくり

- 西北活性化協議会を中心に、「音楽溢れる街づくり」を合言葉に、毎年、オペラ前夜祭やLALALA ミュージシャン・コンテストを開催している。

例年、高松公園(屋外)で開催しているオペラ前夜祭は、新型コロナウイルス感染防止対策のため、天候にかかわらず阪急中ホールでの開催とした。地元中学生による吹奏楽演奏も、コロナ禍のため参加人数を制限したり、合同練習の時間をなるべく少なくするなど工夫し、佐渡監督がクリニックしながら楽曲を仕上げていく過程を見ていただく形に変更して開催した。いつもは参加者にも踊ってもらう「にきたずっと節」も、座席に座ったまま手ぶりだけで参加してもらった。

令和3年度LALALAミュージシャン・コンテストは、新型コロナウイルス感染拡大のため例年行っている一次予選(公開予選)を中止した。音源審査で選ばれた8組による決戦を阪急中ホールで11月2日に開催。コロナ禍においても、地域の方々と共に、にぎわいと一体感形成に寄与した。

また、グランプリ受賞者 幽谷響(ヤマビコ)によるグランプリ・プレミアムコンサートを2月6日にプレラホールで開催予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大のため、6月25日に延期した。

- 平成18年度から兵庫県公立文化施設協議会会長館に就任、県内文化施設(36館)ネットワークの中核的役割を果たすとともに、国内の主要施設として、広域的なホール連携を実施した。
- 主な全国の公立ホール整備への支援として、センター職員の委員就任や視察受入、講演等を通じてアドバイスをを行った。(堺市、枚方市、姫路市 ほか)

【今後の展開と中長期的課題】

7つのコンセプト(事業展開と施設管理運営)の維持・展開

ソフト:①多彩な舞台芸術の『創造・発信』、②『幅広いニーズ』に応える上演、③舞台芸術の『普及』・県民の創造活動の支援

ハード:①自主企画事業を中心に運営、②専門性の高い劇場の特性が生かされる舞台芸術公演の利用促進、③芸術文化の裾野拡大、④開放性と賑わいで街づくりの一翼を形成

「震災復興のシンボル」として兵庫から東北そして熊本へ

阪神・淡路大震災からの復興のシンボルとして誕生した当センターとして、東日本大震災及び熊本地震の復興祈念の取組を継続していく。

コロナ禍での安心・安全の確保とこれまでの好調さの安定・継続＋新たな挑戦

「開館20周年」に向け、①長期的な県収支フレーム(予算)をベースに継続的な充実財源の確保、②安全・安心な施設運営と安定的なソフト展開の土台となる設備・施設維持と改良、③優れた人材の確保・養成による運営体制の安定継続を図る。

＊高稼働率の施設・設備を支えるための大規模修繕・長期改修の着実な計画の実施

＊新型コロナウイルスの影響の下で、観客、出演者、職員、スタッフの安全・安心を確保しながらにぎわいのある公演を展開していく方策を模索

[コロナ禍の課題]

- 主催事業数、公演数が新型コロナウイルス感染症拡大前の令和元年度の 170 事業 374 公演と比較すると、令和3年度は 136 事業 263 公演であることから、7割程度しか回復していない。
- コロナ禍においても公演を実施したいが、収容人数の制限(1/2)がかかると赤字となるジレンマが生じており、事業継続のための資金確保が課題。
- 制限緩和後、追加販売しても周知が行き届かず、マスコミCMの多い共催公演を除き、追加の券売が伸び悩む。
- 海外渡航制限による海外アーティスト(指揮者・ソリスト・スペシャルゲストプレイヤー)の招聘が困難なためバラエティに富んだ公演をラインナップできない。また、来日の見通しが立たず、公演開催の可否が直前まで決定しないため、公演1か月前まで遅らざるを得ない状況が続き、効果的な販売が難しい。
- 公演製作時の感染防止のため出演者・舞台関係者の稽古時、劇場入り等のタイミングで実施するPCR検査の対応や清掃の徹底・スタッフの増員、チケットの払い戻し対応など感染対策の経費・業務量が増加。
- エキストラ・プレイヤーなどフリーランスの収入確保支援(文化芸術活動の継続支援事業の活用等)による担い手の継続。

令和3年度芸術文化センター来館者総数

(1) 公演入場者

ホール名	公演入場者数 (人)
KOBELCO 大ホール	177,283
阪急 中ホール	70,288
神戸女学院 小ホール	35,792
計	283,363
主催：195,033 貸館：88,330	

(2) 総来館者数

公演入場者	283,363 人
広報・普及イベント参加者	30,504 人
ホール出演者・スタッフ等	41,676 人
リハーサル室・スタジオ利用者	27,704 人
チケット購入者・レストラン利用者・共通ロビー来館者等	93,524 人
計	476,771 人

(参考) 開館以来の来館者総数

項目	公演入場者数 (人)	各種来館者数 (人)	計
平成 17 年度	151,809	207,051	358,860
平成 18 年度	494,746	295,635	790,381
平成 19 年度	537,176	301,662	838,838
平成 20 年度	536,202	285,211	821,413
平成 21 年度	538,020	280,278	818,298
平成 22 年度	536,453	264,830	801,283
平成 23 年度	499,039	240,106	739,145
平成 24 年度	498,524	244,887	743,411
平成 25 年度	509,952	251,643	761,595
平成 26 年度	486,525	244,939	731,464
平成 27 年度	499,550	284,776	784,326
平成 28 年度	478,393	229,702	708,095
平成 29 年度	537,021	248,851	785,872
平成 30 年度	529,050	258,331	787,381
令和元年度	471,241	233,076	704,317
令和2年度	120,414	102,548	222,962
令和3年度	283,363	193,408	476,771
計	7,707,478	4,166,934	11,874,412

受賞 ～栄誉ある評価～

- ・関西元気文化圏賞ニューパワー賞「兵庫芸術文化センター管弦楽団」[H19. 1. 11 関西元気文化圏推進協議会]
- ・関西元気文化圏賞特別賞 [H23. 1. 20 関西元気文化圏推進協議会]
- ・地域創造大賞（総務大臣賞） [H23. 1. 21 (財)地域創造]
- ・神戸新聞平和賞「佐渡裕と兵庫芸術文化センター管弦楽団」[H23. 5. 3 (株)神戸新聞社]
*賞金(30万円)は東日本大震災被災地へのPACコアメンバーによるアウトリーチ活動等に活用
- ・関西元気文化圏賞10周年記念特別賞「佐渡裕芸術監督」[H25. 1. 22 関西元気文化圏推進協議会]
- ・第29回ミュージック・ペンクラブ音楽賞「兵庫芸術文化センター管弦楽団」
[H29. 4. 24 (一財)ミュージック・ペンクラブ・ジャパン]
- ・貝原俊民美しい兵庫づくり賞「佐渡裕とスーパーキッズ・オーケストラ」[H29. 11. 22(一財)地域政策研究会]
- ・関西元気文化圏賞ニューパワー賞「スーパーキッズ・オーケストラ」[H31. 1. 22 関西元気文化圏推進協議会]
- ・第44回神戸キワニス青少年ボランティア賞「スーパーキッズ・オーケストラ」[R1. 12. 4 神戸キワニスクラブ]

感謝状

- ・西宮市消防局（芸術文化センターにおける消防用設備の充実と、職員への防災教育の徹底により、消防行政の推進に貢献している功績に対して）H27. 3. 6
- ・宝塚市（1月17日宝塚市犠牲者慰霊式でのPACメンバーの追悼演奏に対して）H27. 3. 14
- ・釜石市（東日本大震災被災地での継続的な「こころのビタミンプロジェクト」演奏活動に対して）R4. 3. 20

新型コロナウイルス感染症拡大への対応（概要）

新型インフルエンザ等対策措置法による対策			イベント開催制限		施設利用制限
R3. 4. 5	R3. 4. 24	まん延防止等重点措置	①人数上限 5,000人、収容率要件100%（大声を出さない公演）	②20 時までの営業時間短縮（ただし、チケット販売済公演には適用しない）	20 時までの利用（ただし、予約済みの施設利用には適用しない）
R3. 4. 25	R3. 5. 11	緊急事態宣言	①無観客開催（自主公演、貸館公演とも中止・延期を調整、窓口でのチケット販売を休止（WEB 販売のみ）、新規販売は休止）		
R3. 5. 12	R3. 5. 31	緊急事態宣言延長	①人数上限 5,000人、収容率要件50%（大声を出さない公演） （販売中のチケットは 50%超で売り止め、新規発売は50%で売り止め）	②21 時までの営業時間短縮（ただし、チケット販売済公演には適用しない）	
R3. 6. 1	R3. 6. 20	緊急事態宣言再延長			
R3. 6. 21	R3. 7. 11	まん延防止等重点措置	①人数上限 5,000人、収容率要件100%（大声を出さない公演） （売り止めを販売）		20 時 30 分までの利用（ただし、予約済みの施設利用には適用しない）
R3. 7. 12	R3. 7. 31	感染リバウンド防止対策	①人数上限 10,000人、収容率要件100%（大声を出さない公演）		
R3. 8. 1	R3. 8. 22	感染リバウンド防止対策延長	①人数上限 5,000人、収容率要件100%（大声を出さない公演）	21 時までの利用（ただし、予約済みの施設利用には適用しない）	
R3. 8. 2	R3. 8. 19	まん延防止等重点措置		20 時までの利用（ただし、予約済みの施設利用には適用しない）	
R3. 8. 20	R3. 9. 12	緊急事態宣言			
R3. 9. 13	R3. 9. 30	緊急事態宣言延長			
R4. 1. 27	R4. 2. 20	まん延防止等重点措置	①人数上限 20,000人、収容率要件100%（大声を出さない公演）	制限なし	制限なし
R4. 2. 21	R4. 3. 6	まん延防止等重点措置延長			
R4. 3. 7	R4. 3. 21	まん延防止等重点措置再延長			

基本方針と主な対策

- ①「新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」の策定による感染症対策の徹底
(R2.6.6 策定、7/16、11/5、11/25、R3.10.23 改定)
- ②「新型コロナウイルス感染症対策アドバイザー」(専門家)による監修を通じた「安全・安心」な運営
 - ・吉田友昭(元藤田医科大学医学部教授)[生物学・ICD 感染制御医]
 - ・浮村 聡(大阪医科薬科大学医学部専門教授(大阪医科薬科大学附属病院感染対策室長))
- ③「PCR 検査及び抗原定性検査を活用した基本的対応について」の策定と検査の実施
- ④ 演者が発声をする公演等(激しい呼吸を伴う運動や管楽器の演奏など、飛沫感染のリスクが考えられるものを含む。)については、客席最前列席は舞台上の発声等を伴う出演者から水平距離で最低 2 m 以上空けるため、客席を売止め。
- ⑤ センター内の各施設の気流実験の実施とこれに基づく対策